

能代市総合計画

第3期実施計画

平成24年度～平成26年度

目 次

◆ 実施計画

I 基本的事項

1	計画策定の趣旨と基本的な考え方	1
2	計画の事業構成	1
3	計画の見直し	1

II 実施事業

1	輝きとぬくもりのまち	
(1)	コミュニティで支え合う特色ある地域づくり	3
(2)	学び合い高め合って地域に活かす生涯学習	6
(3)	地域で育み社会で支える子育て・子ども支援	8
(4)	次代を担う子どもの成長を支える学校教育	11
(5)	子どもも大人も心と体の健康づくり	14
(6)	地域で活躍する元気な高齢者	16
(7)	地域で社会で自立する障害者	19
(8)	ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術	21
(9)	だれもが気軽に楽しめるスポーツ	23
(10)	認め合い支え合う社会づくり	25
2	元気とうるおいのまち	
(1)	環境を核とした活力ある産業創出	26
(2)	雇用を産み出す企業立地	28
(3)	力強く持続する農業	30
(4)	山・川を生かす林業・木材産業・水産業	34
(5)	まちのにぎわいをつくり出す商業	37
(6)	豊かな自然とその恵みを活かす観光	39
(7)	自然と共生し地域で支える環境保全	42
(8)	資源を大切に社会を持続できる衛生環境	44
3	安全と安心のまち	
(1)	安全な暮らしを守る防災・防犯体制	46
(2)	機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	50
(3)	効果的で調和のとれた土地利活用	52
(4)	快適で暮らしやすい住環境	53
(5)	安心でき健康を保てる医療体制	57
(6)	不安のない生活を支える社会保障制度	58
(7)	効率的で住民サービスに資する行財政基盤	60

III 財政計画

1	計画の趣旨	63
2	財政見直し	63

I 基本的事項

1 計画策定の趣旨と基本的な考え方

この計画は、総合計画基本計画（平成20年度～24年度）の施策に関する今後3年間の実施事業を示した第3期の実施計画（24年度～26年度）です。

計画には、総合計画市民協働会議のまちづくり評価や提案を可能な限り反映させました。

計画では、事業の実施期間、方向性、見直し時期等とともに、3年間の財政見通しを示していますが、具体的な事業費については、各年度の予算編成において調整することになります。

2 計画の事業構成

この計画では、予算の有無にかかわらず、基本計画の施策実現のための主な事業を掲載していますが、法律等による国の制度や施設の維持補修など、義務的、付随的に実施する事業については、事業体系上重要なものを除き掲載していません。

3 計画の見直し

実施計画は、基本計画の目標指標の達成状況をもとに評価を行い、その結果を事業展開等に反映させるため、2年ごとを基本に計画全体の見直し（次期計画策定）を行うこととしています。24年度中に基本計画（平成25年度～29年度）を策定することから、それに合わせて新しい基本計画に基づいた実施計画を改めて策定することとしています。

II 実施事業

この計画では、基本構想及び基本計画の政策、施策の体系に沿って、主な実施事業の概要を示しています。

特に、計画の効果的な推進を図るために、次のような取組の視点が必要な事業については、事業区分欄に表示し、今後の事業展開の方向性を示しています。

①重点事業

基本計画の「重点的取組」に関する事業及び当面する行政課題へ積極的に対応するため重点的に取り組む事業

②市民活動推進事業

事業効果を高めるために、特に「市民活動」の視点が重要と考えられる事業

③見直し検討事業

事業の内容やあり方など、見直しする事業及び見直しを検討する事業

「実施事業の概要」の説明

参考として平成24年度当初予算額を掲載
10万円未満は四捨五入
ただし、事業費5万円未満は切り上げ

実施事業の概要

① ボランティアなどの活動がしやすい環境を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点 市民	市民活動支援センター事業 市民活動を総合的に支援するための相談窓口・ コーディネート等を実施	実施 (縮小)	実施	実施	県補助金が終了し たが体制を縮小し 継続	百万円 7.0
重点 市民 見直	ボランティア養成等事業 ボランティアの登録・あっせん、相談・助言、組織化 の支援等	実施	実施	実施	継続して実施	2.3

② 地域や団体の情報を共有できる環境を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	広聴事業 「市長への手紙」「市民意識調査」「ランチで対話」 「まちかどミーティング」等の実施	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 0.2
	広報発行事業 市広報誌「広報のしろ」の発行	実施	実施	実施	継続して実施	20.0
	ホームページ運営事業 市のホームページの管理運営	実施	実施	実施	継続して実施	—

上段：実施の有無、年次計画、実施内容等
下段：新規・終了・見直し等の具体的な時期

重点
市民
見直

重点事業
市民活動推進事業
見直し検討事業

3年間の事業の方向、見
直しを検討する内容等

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (1)	コミュニティで支え合う特色ある地域づくり
---------	----------------------

基本構想でめざす姿や状態

- ボランティアなどの活動しやすい環境があり、情報や目標を共有できて交流や連携が進むこと。
- 自治会や町内会などの活動が活発になり、地域の課題解決や、地域資源を活かした身近なまちづくりにつながること。
- 普段から地域で交流や協力、支え合いがあり、地域コミュニティが良好であること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合	37.8% (H19年度)	50.0%	60.0%	市民意識調査
ボランティアセンター登録者数	5,148人 (H19年度)	6,000人	6,500人	

施策の体系

(1) コミュニティで支え合う特色ある地域づくり

- ① ボランティアなどの活動がしやすい環境を整える
- ② 地域や団体の情報を共有できる環境を整える
- ③ 地域づくりの活動を活性化する
- ④ 地域福祉ネットワークを構築する
- ⑤ まちづくり活動の立ち上げを支援する
- ⑥ 市独自の特色あるまちづくりを展開する

実施事業の概要

① ボランティアなどの活動がしやすい環境を整える

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点 市民	市民活動支援センター事業 市民活動を総合的に支援するための相談窓口・コーディネート等を実施	実施 (縮小)	実施	実施	県補助金が終了したが体制を縮小し継続	百万円 7.0
重点 市民	ボランティア養成等事業 ボランティアの登録・あっせん、相談・援助、活動団体の連携、組織への支援等	実施	実施	実施	継続して実施	2.3

② 地域や団体の情報を共有できる環境を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	広聴事業 「市長への手紙」「市民意識調査」「ランチで対話」 「まちかどミーティング」等の実施	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 0.2
	広報発行事業 市広報誌「広報のしろ」の発行	実施	実施	実施→	継続して実施	20.0
	ホームページ運営事業 市のホームページの管理運営	実施	実施	実施→	継続して実施	—

③ 地域づくりの活動を活性化する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	自治会・町内会活動支援事業 自治会・町内会の活動支援、会議の開催等	実施	実施	実施→	24年度に新制度の 周知を行い25年度 から新制度移行	百万円 16.6
	地域集会所建設費補助事業 地域集会所の建設(新築・改築・購入・増築)への補助	(補助)	(補助)	(補助)→	建設があれば制度 に基づき補助を実施	—
	地域集会所修繕費補助事業 地域集会所の修繕への補助	2件補助	(補助)	(補助)→	修繕があれば制度 に基づき補助を実施	1.2
	地域集会所建設資金貸付事業 地域集会所の建設への貸付	(貸付)	(貸付)	(貸付)→	建設があれば制度 に基づき貸付を実施	—
	地域センター等管理運営事業 7箇所の地域センター及び出張所の管理運営、地 域住民の活動拠点として各種行事の開催等	管理運営	管理運営	管理運営→	出張所業務の委託 等を検討	15.5
市民 見直	地域協議会運営事業 地域自治区である二ツ井地域に設置した地域協議 会の開催・運営	開催・運営	開催・運営	開催・運営 (見直し)→	26年度に協議会の あり方を検討	0.1
	二ツ井地域振興事業 東京二ツ井会への支援等	実施	実施	実施→	継続して実施	0.5
	恋文データ化事業(緊急雇用事業) 恋文コンテストに応募された作品を閲覧できるように するためデータ化等を実施	実施 (新規)→			24年度に実施	5.0

④ 地域福祉ネットワークを構築する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	社会福祉協議会補助事業 社会福祉協議会の公益事業の運営に対する補助	補助	補助	補助→	継続して実施	百万円 20.5
市民	民生委員・児童委員支援事業 民生委員・児童委員の活動に対する支援	支援	支援	支援→	継続して実施	14.5
市民	地域福祉等補助事業 二ツ井地域の地域福祉団体への補助	補助 (縮小)	補助	補助→	団体の実情に応じ て縮小	0.1

⑤ まちづくり活動の立ち上げを支援する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民 見直	市民まちづくり活動支援事業 市民が主体的に取り組むコミュニティビジネスやまち づくり活動への補助	支援	支援	支援	25年度中に実績を 踏まえて補助メー 等の見直しを検討	百万円 1.6
			(見直し)			
市民 見直	地域づくり支援事業 まちづくり協議会等への支援	支援	支援	支援	地域の自主性につ ながる支援のあり 方を検討	2.8

⑥ 市独自の特色あるまちづくりを展開する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点 市民	バスケットの街づくり推進事業 バスケット資料館の整備、バスケットの街づくり市民チャレン ジ事業支援等の新計画推進	実施	実施	実施	24年度にバスケット資 料館機能の整備な ど取組を拡充	百万円 12.2
		(拡充)				
市民	能代宇宙イベント支援事業 能代宇宙イベント協議会が開催する「能代宇宙イベ ント」への補助	実施	実施	実施	24年度より一般公 開日を実施するな ど取組を拡充	2.0
		(拡充)				
	銀河連邦交流事業 宇宙科学研究施設が所在する6市町を連邦国家に 見立て、人的交流や経済交流を実施	実施	実施	実施	継続して実施	1.2

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (2)	学び合い高め合って地域に活かす生涯学習
---------	---------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 学べる機会があり、学んだ知識や技能、技術が、地域や社会に活かされること。
- 体験学習などを通じて、親子や地域住民の交流が深まり、人づくりや地域づくりにつながること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
知識や特技を地区活動や行事で 発揮することを心がけている市 民の割合	19.0% (H19年度)	25.0%	30.0%	市民意識調査
自主学習グループ数(公民館登 録)	257団体 (H19年度)	285団体	310団体	
自主学習グループ会員数(公民 館登録)	4,249人 (H19年度)	4,500人	4,600人	
生涯学習指導者、ボランティア 登録者数	27組 (H19年度)	40組	50組	

施策の体系

(2) 学び合い高め合って地域に活かす生涯学
習

- ① 地域の活動につながる学習を展開する
- ② 効率的で効果的な社会教育施設にする
- ③ 青少年の健全な成長を支える

実施事業の概要

① 地域の活動につながる学習を展開する

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	能代市社会教育中期計画策定事業 25年度から29年度までの社会教育行政の指針に関 する計画の策定	策定			24年度に策定	百万円 0.3
市民	のしろDEマナブゥ事業 ふるさとへの愛着を育むため、実体験に基づく能代 の歴史、産業、風土の学習機会の提供等	実施	実施	実施	市民や各種団体等 との協力体制等につ いて検討	0.5
市民	生涯学習推進事業 生涯学習推進のため生涯学習ボランティア及びボラ ンティアコーディネーターの育成等	実施	実施	実施	継続して実施	1.2
市民 見直	公民館等活動事業 家庭・少年・青年・成人・高齢者教育のための講座 開催	実施	実施	実施	分館のあり方の見 直しを検討	3.7
市民	図書館図書等整備・活動事業 図書及び資料の収集・整理・保存・提供、図書館ボ ランティアの活動支援等	実施	実施	実施	継続して実施	8.6
	図書情報拠点化事業 資料及び情報の提供、学校図書館等関係機関との 連携	実施	実施	実施	継続して実施	—
市民	子ども館活動事業 プラネタリウム投影、科学実験等講座の開催	実施	実施	実施	継続して実施	3.7
見直	社会教育関係団体支援事業 連合婦人会等の活動費への助成	実施	実施	実施	団体の自立に向け て縮小	0.3

② 効率的で効果的な社会教育施設にする

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
見直	公民館管理事業 中央公民館、地区公民館及び分館の管理	管理	管理	管理→	分館の統合・再編等を検討	百万円 52.2
	勤労青少年ホーム管理事業 勤労青少年ホームの管理	管理	管理	管理→	中央公民館と一体的に管理	6.7
	働く婦人の家管理事業 働く婦人の家の管理	管理	管理	管理→	中央公民館と一体的に管理	7.5
見直	図書館管理事業 図書館の管理	空調設備更新	管理	管理→	二ツ井地域の図書館機能を検討	53.7
	子ども館管理事業 子ども館の管理	展示リニューアル等	管理	管理→	24年度に電気設備改修、展示物リニューアルを実施	43.4
見直	サン・ウッド管理事業 生涯学習施設サンウッド能代の管理	管理	管理	管理→	施設のあり方の見直しを検討	11.6
見直	杉ホールひびき管理事業 仁鮎地区の生涯学習の拠点である杉ホールひびきの管理	管理	管理	管理→	施設の設置目的に合致した事業展開の検討	1.2

③ 青少年の健全な成長を支える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	青少年健全育成事業 青少年健全育成のための活動への支援、子どもまつり事業への補助等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 0.8
	家庭教育支援事業 乳幼児から思春期までの子どもを持つ保護者等を対象にした家庭教育関係講座の開催等	実施	実施	実施→	継続して実施	0.2
市民 見直	青少年ホーム主催事業 利用者連絡協議会で主催する事業に対する助成	実施	実施 (見直し)	実施→	助成の終期を示す等、自立したイベントになるよう誘導	0.5
市民	成人式運営事業 実行委員会を組織して成人式を運営	実施	実施	実施→	継続して実施	0.6

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (3)	地域で育み社会で支える子育て・子ども支援
---------	----------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 安心して子育てができ、子育てに喜びを感じられること。
- 地域や社会で子どもを守り育てる意識が浸透し、子育てを支え合えること。
- 地域住民と子どもの交流があり、子どもが心身ともに元気で健やかに成長すること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合	25.0% (H19年度)	30.0%	35.0%	市民意識調査
ファミリーサポートセンター会員登録数	12人 (H19年度)	100人	150人	
ファミリーサポート事業利用件数	1件 (H19年度)	50件	75件	

施策の体系

(3) 地域で育み社会で支える子育て・子ども支援

- ① 子育てを地域で支援する仕組みを作る
- ② 子育てしやすい環境を整える
- ③ 子どもの居場所づくりを進める
- ④ 子どもを守る体制を整える
- ⑤ ひとり親家庭の自立を支援する

実施事業の概要

① 子育てを地域で支援する仕組みを作る

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点 市民	ファミリーサポートセンター事業 子育ての援助を受けたい人で行いたい人を会員とした組織での助け合い	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 0.2
重点 市民	地域で取り組む子育て応援事業 すくすくまごころパス事業、新生児にオリジナル絵本贈呈の「めんchoco誕生事業」	実施	実施	実施	24年度よりまごころパスを全対象世帯へ配布	2.0
市民 等	保育所地域活動事業 市営保育所で行う地域住民との交流のための行事等	実施	実施	実施	継続して実施	0.2

② 子育てしやすい環境を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	子育て支援センター事業 子育てに関する相談指導・情報提供、子育てサークル育成・支援等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 7.6
市民	つどいの広場・一時預かり事業 親子の集いの場の提供、子育てに関する相談等及び就学前児童の一時預かり	実施	実施	実施→	継続して実施	6.1
	法人保育所運営費負担事業 法人保育所の運営に対する負担	実施	実施	実施→	継続して実施	745.4
	法人保育所特別保育補助事業 法人保育所の延長保育、障害児保育、地域活動、一時保育、病児・病後児保育等への補助	補助	補助	補助→	継続して補助	81.2
見直	市立保育所運営事業 市立認可保育所及び市立へき地保育所の運営	運営	改修工事 運営	運営→	今後の方針に沿って 統合・廃止等を実施、 25年度に統合による 改修工事を実施	200.8
	一時保育事業 市立保育所における一時保育の実施	実施	実施	実施→	継続して実施	6.0
	病児・病後児保育事業 病気で保育所等に行けない児童の医療機関での一時預かり	実施	実施	実施→	継続して実施	13.8
	すくすく子育て幼稚園保育料支援事業 幼稚園児の保護者への保育料支援	支援	支援	支援→	継続して支援	18.3
	私立幼稚園補助事業 私立幼稚園の世代間交流、異年齢児交流、育児講座等事業への補助	補助	補助	補助→	継続して補助	1.5

③ 子どもの居場所づくりを進める

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	放課後児童会運営事業 放課後児童の活動の場として9施設の放課後児童会を運営	運営	運営	運営→	継続して運営	百万円 36.0
	ニツ井児童館運営事業 児童の活動の場としてニツ井児童館を運営	運営	運営	運営→	継続して運営	2.6
市民	放課後子ども教室推進事業 放課後・週末等の子どもの居場所づくりとして、放課後子ども教室や週末活動等を実施	実施	実施	実施→	継続して実施	7.0

④ 子どもを守る体制を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	家庭児童相談員設置事業 家庭児童福祉に関する相談業務等を行う家庭児童相談員を設置	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 3.4
市民	要保護児童対策地域協議会運営事業 地域住民や関係機関と連携して要保護児童を支援するための協議会を運営	運営	運営	運営→	継続して運営	—

⑤ ひとり親家庭の自立を支援する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	ひとり親家庭児童保育援助事業 幼稚園等の保育料等を援助	援助	援助	援助→	継続して援助	百万円 6.7
	母子自立支援員設置事業 母子家庭等の相談業務等を行う母子自立支援員を設置	実施	実施	実施→	継続して実施	1.5
	母子生活支援施設運営事業 母子家庭等の保護と自立支援のため母子生活支援施設を運営	運営	運営	運営→	継続して運営	8.7
	母子生活支援施設改築事業 老朽化が進む母子生活支援施設を改築	建設工事 建設工事	建設工事 備品購入→		25年度完成予定	27.5

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (4)	次代を担う子どもの成長を支える学校教育
---------	---------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 子どもがより良い環境で学ぶことができ、子どもの個性や能力が伸びること。
- 学校が地域の活動の場として開かれ、地域と連携した教育が進むこと。
- 子ども一人ひとりが命の大切さを学び、人との関わり方、社会との関わり方を身に付けられること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合	47.8% (H19年度)	50.0%	55.0%	市民意識調査
耐用年数を超える学校数	5校 (H19年度)	0校	0校	
耐震基準を満たす学校数	12校 (H19年度)	14校	全校	

施策の体系

(4) 次代を担う子供の成長を支える学校教育

- | |
|--------------------|
| ① 教育環境を整える |
| ② 心豊かな子どもを育む教育を進める |
| ③ 基礎学力や基礎体力の向上を図る |
| ④ 子どもの心と体の健康を保つ |

実施事業の概要

① 教育環境を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業 能代山本地区の定住を促進するため、一定要件を 満たす学生・生徒に奨学金を貸与	貸与	貸与	貸与→	継続して貸与	百万円 35.0
	奨学金貸付事業 経済的に就学が難しい優良な学生・生徒に奨学金 を貸与	貸与	貸与	貸与→	継続して貸与	27.1
見直	特別支援教育支援員設置事業 特別支援教育が必要な児童生徒がいる学校へ支援 員を配置	実施	実施	実施→	24年度中に県補助 金終了後の体制に ついて検討	25.1
		(見直し)				
	学校生活サポート事業 日本語に不自由な児童生徒に非常勤職員を配置し て支援	実施	実施	実施→	継続して実施	2.3
見直	小学校外国語活動支援員設置事業 小学校の外国語活動を支援するため、外国語活動 支援員を配置	実施	実施	実施→	24年度中に県補助 金終了後の体制に ついて検討	2.0
		(見直し)				
見直	情報学習支援員設置事業費 教員に対し、デジタル教材の効果的な活用を支援 する情報学習支援員を配置	実施	実施	実施→	24年度中に県補助 金終了後の体制に ついて検討	2.0
		(見直し)				
市民	学校支援ボランティア事業 特別活動等の学習活動支援や登下校の見守りなど を行う学校支援ボランティアの活動促進	実施	実施	実施→	継続して実施	—
	学校図書環境整備事業 学校図書の整備と図書事務補助員の配置	実施	実施	実施→	継続して実施	18.1
	教育用コンピュータ整備事業 学校教育用のコンピューターの整備	中学校 1校更新	中学校 1校更新	中学校 1校更新→	既存のパソコンは 小学校で再利用	11.1
	プラスバンド用楽器整備事業 小中学校のプラスバンド用楽器の修理・更新	実施	実施	実施→	継続して実施	2.7
	遠距離通学費補助事業 児童生徒の遠距離通学費への補助	補助	補助	補助→	継続して補助	2.7
	スクールバス運行等事業 向能代小、二ツ井小、常盤小中、能代東中スクール バス運行及び教育バス等の車両管理	実施	実施	実施→	継続して実施	20.4
	二ツ井小学校建設事業 二ツ井小学校の建設	遊具設置 (終了)→			24年度で終了	8.7
	小学校プール改築事業 浅内小、第五小のプールを改築	解体 建設 (新規)	建設 (終了)	→	25年度で終了	14.2
	高等学校統合準備事業 市立能代商業高等学校と県立能代北高等学校の統 合に伴う準備	閉校式典 校舎建設	統合校 開校	→	24年度に商業高校 開校記念式典実施	5.8
			(終了)			

② 心豊かな子どもを育む教育を進める

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点 市民	防災教育事業 周辺自治会等との共同避難訓練等の実践的な防災教育、教員の研修、防災委員会の設置等を実施	実施	実施	実施	24年度より実施	百万円 0.7
		(新規)				
市民	特色ある教育活動推進事業 小中学校の総合的な学習の時間等でさまざまな体験活動等を実施	実施	実施	実施	継続して実施	2.5
	ふるさと学習活動・交流事業 小学校のふるさと学習活動及びその交流会の開催	実施	実施	実施	継続して実施	—
市民	能代っ子中学生ふるさと会議運営事業 中学生同士がふるさとづくりの交流を行うふるさと会議の開催	実施	実施	実施	継続して実施	—
	モデルロケット教室開催費 小学校6年生を対象として、宇宙事業、モデルロケット製作、打ち上げ体験授業を実施	実施	実施	実施	継続して実施	0.5

③ 基礎学力や基礎体力の向上を図る

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	学力向上対策事業 全国学力テストや学習状況調査を活用した学力状況の把握と学習指導方法の改善	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 —
	語学指導等を行う外国青年招致事業 英語力向上のための外国語指導助手の配置	実施	実施	実施	継続して実施	9.2
	児童生徒選手派遣費補助事業 全県大会等の選手派遣費を補助	補助	補助	補助	継続して補助	6.8
	学校体育連盟等補助事業 中学校体育連盟・校長会・教育研究会等への補助	補助	補助	補助	継続して補助	3.0

④ 子どもの心と体の健康を保つ

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	学校給食管理事業 小中学校で給食を実施	管理	管理	管理	継続して管理	百万円 156.1
	児童生徒等健康管理事業 児童生徒等の定期健診等	実施	実施	実施	継続して実施	23.7
	心の教室相談員設置事業 小中学校に心の教室相談員を配置	12校	12校	12校	継続して実施	3.9
	教育相談員設置事業 教育相談の活動を行うため教育相談員を配置、教育相談電話「風の子電話」を設置	実施	実施	実施	継続して実施	1.7
	不登校児童生徒対策事業 不登校対策として、適応指導教室の開設及び不登校保護者会の開催	実施	実施	実施	継続して実施	3.3

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (5)	子どもも大人も心と体の健康づくり
---------	------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 普段から健康を意識して生活し、生涯を通じて健康でいられること。
- 身近で悩みごとなどの相談ができ、心の健康が保たれること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
からだが健康だと思う市民の割合	62.5% (H19年度)	70.0%	76.0%	市民意識調査
心が健康だと思う市民の割合	61.8% (H19年度)	65.0%	70.0%	市民意識調査
健康づくりサークル会員数	574人 (H19年度)	5%増	10%増	
がん死亡率(人口10万人対)	393.3 (H18年)	10%減	20%減	
自殺死亡率(人口10万人対)	67.4 (H18年)	県平均に近づける	県平均を下回る	

施策の体系

(5) 子どもも大人も心と体の健康づくり

- ① 心の健康づくりと生活習慣改善の意識を広める
- ② 疾病予防や早期発見の体制を整える
- ③ 母子の健康を保つ

実施事業の概要

① 心の健康づくりと生活習慣改善の意識を広める

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点 市民	健康づくり運動推進事業 健康づくり実践行動を起こすための仕組みを、関係団体と検討し実施	実施 (新規)	-----	-----	25年度以降については、24年度の取組により検討	百万円 0.6
市民	健康推進員活動事業 地域のキーパーソンである健康推進員の育成と推進員を通じた一般市民の健康意識啓発	実施	実施	実施	継続して実施	2.2
市民	心の健康づくり等推進事業 健康づくり新計画策定及び健康展の開催、自殺予防に関するゲートキーパーの育成支援	実施	実施	実施	継続して実施	4.0
市民	健康教育事業 市民の健康意識高揚に向け、地域においてきめ細やかな教育を実施	実施	実施	実施	継続して実施	0.8
	健康相談事業 健康に関する不安等を緩和し、自らが健康度及び生活の質向上策を見出せる相談を実施	実施	実施	実施	継続して実施	0.3
市民	フッ化物洗口事業 永久歯が生えそろう時期の継続実施により、子供の歯質を強くし、永久歯の虫歯を予防	実施 (拡充)	実施	実施	24年2月より対象を5歳～15歳までの全児童、生徒に拡充	4.4

② 疾病予防や早期発見の体制を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
見直	保健センター健診事業 特定健診及び事業主検診等の実施	実施	実施	実施	検診項目の拡大とそれに係る自己負担の導入を検討	百万円 60.9
		(見直し)				
重点 市民	がん対策強化推進事業 がん検診助成及び広報、受診機会の確保、受診勧奨等の検診受診率の向上対策	実施	実施	実施	24年度より助成対象年齢の拡大等拡充して実施	74.0
		(拡充)				
	緩和ケア体制整備事業 緩和ケア体制の整備に必要な人材育成のため、病院に対して研修受講経費の一部を助成	助成	助成	助成	24年度より毎年度2名分の助成を実施	0.8
		(新規)				
	予防接種事業 感染症予防のための集団予防接種及び個別予防接種を実施	実施	実施	実施	継続して実施	109.4
	国保健康診査助成事業 国保加入者のがん検診および人間ドックへの助成	助成	助成	助成	継続して助成	10.6 (特別会計)
	国保特定健康診査事業 40歳以上の国保加入者の特定健診を実施	実施	実施	実施	継続して実施	34.7 (特別会計)
	国保特定健康診査対策事業 特定健診の制度周知、受診勧奨、未受診者の分析等による検診受診率の向上対策を実施	実施	実施	実施	24年度より実施	2.1 (特別会計)
		(新規)				
	国保特定保健指導事業 国保特定健診の結果により、生活習慣改善が必要な人に対して保健指導を実施	実施	実施	実施	継続して実施	0.8 (特別会計)
	後期高齢者医療検診事業 後期高齢者の検診を実施	実施	実施	実施	継続して実施	5.0

③ 母子の健康を保つ

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	母子保健事業 妊婦保健指導、妊婦健康診査、母子健康教育、母子訪問指導等の実施	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 36.1
	乳幼児健康診査事業 4カ月児等の健康診査、2歳児の歯科健康診査の実施	実施	実施	実施	継続して実施	5.5

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (6)	地域で活躍する元気な高齢者
---------	---------------

基本構想でめざす姿や状態

- 高齢になっても住み慣れた家庭や地域で、健康でいきいきと自立した生活ができること。
- 高齢者が培った知識と経験を生かして、社会的な役割を持ち、生きがいや地域の活力につながることを。
- 地域住民やボランティアなどの交流やその支援が、高齢者の自立を支えること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
高齢者人口に対する自立高齢者率	84.0% (H19年度)	82.0%	80.0%	
自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民(高齢者)の割合	48.1% (H19年度)	60.0%	70.0%	市民意識調査
シルバー人材センターの登録会員数	391人 (H19年度)	5%増	10%増	
シルバー人材センターの就業延人員	40,029人 (H18年度)	5%増	10%増	

施策の体系

(6) 地域で活躍する元気な高齢者

- ① 高齢者が活躍できる環境を整える
- ② 高齢者の地域生活を支援する
- ③ 介護予防を行う
- ④ 高齢者福祉施設の体制を整える

実施事業の概要

① 高齢者が活躍できる環境を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	シルバー人材センター支援事業 シルバー人材センターの運営に対する補助等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 8.0
重点 市民	青空デイサービス事業 高齢者の生きがいづくりや介護予防のための軽易な農作業体験等の実施	実施 (拡充)	実施	実施→	24年度より援助員を雇用し自主的な活動体制を構築	2.0 (特別会計)
市民 見直	老人クラブ社会活動促進事業 老人クラブ活動の支援	実施	実施	実施→	能代地域と二ツ井地域の統一に向けた調整	5.3
市民 見直	敬老会事業 高齢者の長寿と健康をお祝いする敬老会の実施	実施	実施	実施→	能代地域と二ツ井地域の調整方法を検討	4.9

② 高齢者の地域活動を支援する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業 高齢者の福祉全般及び要介護者等の介護保険給付等に関する計画の策定			策定→	26年度に第6期計画策定	百万円 —
見直	軽度生活援助事業 高齢者の日常生活上の除雪・草刈等の軽易な作業を援助	実施 (拡充)	実施	実施→	24年度から16枚に拡充、対象者等の見直しを検討	14.4
見直	緊急通報装置整備事業 一人暮らし等で生活不安のある高齢者に緊急通報装置を貸与	実施	実施	実施→	通報システムの見直しを検討	4.9
	ふれあい安心電話事業 一人暮らし等で生活不安のある高齢者にふれあいコールを実施	実施	実施	実施→	継続して実施	3.1
市民	地域支え合い高齢者等見守り事業（緊急雇用事業） 民生委員や自治会等と連携した高齢者、要援護者の見守り強化及び巡回相談員の配置	実施 (新規)→			県補助金終了後の25年度以降の実施について検討	8.5
	救急医療情報キット等配布事業 医療情報を記載した資料を収納、保管しておく救急医療情報キットを高齢者世帯等に配布	実施 (新規)	実施	実施→	24年度に全対象者に配布し、以降新規対象者へ配布	0.7
市民	地域福祉活動補助事業 ボランティア団体等が実施する高齢者等福祉増進のための事業に福祉基金を活用して補助	補助 (拡充)	補助	補助→	補助対象事業を二ツ井地域にも拡充	2.4
	百歳長寿お祝い事業 百歳の誕生日にお祝い状と記念品を贈呈	実施	実施	実施→	継続して実施	1.0
	シルバーパス事業 二ツ井地域の70歳以上の人にシルバーパス券を交付、定額で公共バスが利用可能	実施 (終了)→			元気・交流200円バス事業開始に伴い終了予定	1.3
重点	元気・交流200円バス事業 高齢者の交通対策のため、満65歳以上の市民に1乗車200円で乗車できるバスを交付	実施 (新規)	実施	実施→	24年度より開始予定	7.5
見直	高齢者外出支援事業 二ツ井地域の高齢者外出支援のための送迎	実施	実施	実施→	障がい者外出支援事業と一体で見直しを検討	2.5
見直	はりきゅうマッサージ施術助成事業 はりきゅうマッサージの施術費を助成	実施 (見直し)	実施	実施→	廃止を含めた見直しの検討	0.6
見直	訪問理容サービス事業 寝たきり高齢者等に理容師を派遣し理容を実施	実施 (見直し)	実施	実施→	対象者、自己負担等の見直しの検討	1.3
	高齢者住宅改修助成事業 高齢者の居宅整備のための助成	助成 (拡充)	助成	助成→	24年度から要支援認定者まで対象を拡充	1.3
	家族介護用品支給事業 介護する家族におむつ等の購入費を助成	助成	助成	助成→	少額券の発行等利便性の向上を検討	43.2 (特別会計)
	家族介護支援事業 家族介護者教室や介護者交流事業の実施	実施	実施	実施→	継続して実施	0.2 (特別会計)
	徘徊高齢者家族支援サービス事業 介護する家族に徘徊探知機購入を助成	実施	実施	実施→	継続して実施	0.1 (特別会計)
市民	認知症高齢者見守り事業 認知症の人や家族を支援するため、認知症サポーターの養成、見守りネットワークの構築等を実施	実施	実施	実施→	継続して実施	0.3 (特別会計)

③ 介護予防を行う

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	地域包括支援センター運営事業 介護予防、相談業務等を行う地域包括支援センターの運営	実施 (拡充)	実施	実施	高齢者の増加に合わせ相談支援体制を拡充	百万円 62.5 (特別会計)
	介護予防サービス計画作成事業 要支援者の介護予防サービス計画を地域包括支援センターで作成	実施	実施	実施	継続して実施	23.9 (特別会計)
	二次予防事業対象者把握事業 介護予防事業を実施するため、介護予防が必要な「二次予防事業対象者」を把握	実施 (拡充)	実施	実施	高齢者の増加に合わせ業務体制を拡充	12.3 (特別会計)
	通所型介護予防事業 二次予防事業対象者への転倒骨折予防や認知症予防の教室、栄養改善や口腔機能向上の指導等	実施	実施	実施	継続して実施	6.6 (特別会計)
	食の自立支援事業 二次予防事業対象者の安否確認及び栄養管理のための配食サービスの実施	実施	実施	実施	継続して実施	12.6 (特別会計)
	地域自立生活支援事業 要介護認定等の高齢者の安否確認及び栄養管理のための配食サービスの実施	実施	実施	実施	継続して実施	14.1 (特別会計)
	生活管理指導員派遣事業 二次予防事業対象者の家事援助等を指導するため、生活管理指導員を派遣	実施	実施	実施	継続して実施	7.5 (特別会計)
	生活管理指導短期宿泊事業 二次予防事業対象者等を養護老人ホームへの一時的宿泊により養護	実施	実施	実施	継続して実施	0.3 (特別会計)
重点 市民	高齢者の生きがいがいづくりと健康づくり事業 一般高齢者の趣味活動、軽運動等のための講座の開催等	実施 (拡充)	実施	実施	老人クラブ会員以外にも参加しやすい事業を実施	1.9 (特別会計)

④ 高齢者福祉施設の体制を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
見直	能代ふれあいプラザ管理運営事業 在宅福祉、定住促進及び交流促進等のための複合施設であるサンピノの管理運営	管理運営	管理運営	管理運営	指定管理の導入を検討	百万円 17.7
見直	高齢者友愛センター管理運営事業 サンピノにある高齢者交流促進のための高齢者友愛センターの管理運営	管理運営	管理運営	管理運営	指定管理の導入を検討	0.9
	養護老人ホーム管理運営事業 養護老人ホーム「松籟荘」の管理運営	管理運営	管理運営	管理運営	継続して管理運営	138.4
市民	老人福祉総合エリア利用促進事業 老人福祉総合エリアの環境整備や納涼福祉祭の実施等	実施	実施	実施	継続して実施	2.2
見直	高齢者保養センター管理運営事業 高齢者保養センター「松風荘」の管理運営	管理運営 (見直し)	管理運営	管理運営	廃止も含めて施設のあり方を検討	7.3
見直	老人憩の家管理運営事業 老人憩の家の管理運営	管理運営	管理運営	管理運営	廃止も含めて施設のあり方を検討	5.5
	総合福祉センター冷泉管改修事業 漏水が確認された冷泉管の改修工事を実施	施設内 漏水対策	調査委託	改修工事	上水道整備の際に合わせて工事实施	0.3

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (7)	地域で社会で自立する障がい者
---------	----------------

基本構想でめざす姿や状態

- 障がいがあっても住み慣れた家庭や地域で、生きがいを持って自立した生活ができること。
- 障がい者が個性や能力を生かして社会参加できること。
- 地域住民やボランティアなどとの交流やその支援が、障がい者の自立を支えること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
障害者計画に基づき入所施設から地域生活へ移行する人数	0人 (H18年度)	13人	13人以上	
事業所における障がい者雇用率	2.31% (H18年度)	2.60%	2.70%	
障がいを持つ人も社会参加できる環境が整っていると思う市民の割合	12.9% (H19年度)	20.0%	28.0%	市民意識調査
手話サークル登録者数(ボランティアセンター)	63人 (H19年度)	70人	80人	
ボランティアセンター登録者数	5,148人 (H19年度)	6,000人	6,500人	
公共施設等のバリアフリー化の6項目クリア率	5.4% (H19年度)	8.0%	11.0%	

施策の体系

(7) 地域で社会で自立する障がい者	① 障がい者の自立や就労を支援する
	② 障がい者の地域生活を支援する
	③ 障がい児の療育や教育の環境を整える

実施事業の概要

① 障がい者の自立や就労を支援する

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	障害者自立支援介護給付等事業 障害者自立支援制度による居宅介護、生活介護、施設入所支援、自立訓練、就労継続支援等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 853.0
	障害福祉団体等補助事業 障害者団体等の運営に対する補助	補助 (縮小)	補助	補助→	団体の実情に応じて縮小	0.2

② 障がい者の地域生活を支援する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
見直	障害者地域生活支援事業 日常生活用具給付事業、日中一時支援事業等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 22.4
	障害者外出支援事業 重度障害者の外出支援のためのタクシー料金助成等	実施	実施	実施→	高齢者外出支援事業と一体で見直しを検討	4.7
	在宅障害者支援施設管理運営事業 在宅障害者支援施設「とらいあんぐる」の管理運営 (地域生活支援センター事業、障害者相談支援事業含む)	管理運営	管理運営	管理運営→	継続して管理運営	22.6
	障害者住宅整備資金貸付事業 障害者の居宅整備のための資金貸付	(貸付)	(貸付)	(貸付)→	申し込みがあれば制度に基づき貸付を実施	—

③ 障がい児の療育や教育の環境を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	障害児通所支援事業 障害児通所施設への通所に対する給付	実施	実施	実施→	継続して実施	※障害者自立支援介護給付等事業に含まれる

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (8)	ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術
---------	-------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 民俗芸能や民俗行事などを通じて、世代間交流が進み、地域住民の結びつきが深まること。
- 文化・芸術の活発な活動により、人の心が豊かになること。
- 地域の歴史や文化への理解が深まり、地域に愛着や誇りを持てること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
地区の祭りや七夕・民俗芸能などへ参加を心がけている市民の割合	33.7% (H19年度)	42.0%	50.0%	市民意識調査
自主学习グループ数(公民館登録数)	257団体 (H19年度)	285団体	310団体	
自主学习グループ会員数(公民館登録数)	4,249人 (H19年度)	4,500人	4,600人	
能代市民俗芸能連合会加盟団体数	19団体 (H19年度)	20団体	維持	
文化財保護協会の会員数	121人 (H19年度)	150人	維持	
檜山歴史ガイドの会会員数	42人 (H19年度)	50人	維持	

施策の体系

(8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術	① 伝統文化の保存・継承活動を支援する
	② 文化・芸術の振興を支援する
	③ 歴史の里づくりを支援する
	④ 文化財や歴史資料の調査・保存を行う

実施事業の概要

① 伝統文化の保存・継承活動を支援する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	民俗芸能等振興費 民俗芸能団体への活動支援	実施 (拡充)	実施	実施	子どもたちの活動への支援を拡充	百万円 0.7
	伝承ホール管理運営事業 二ツ井伝承ホールの管理運営	管理運営	管理運営	管理運営	施設の活用方法の検討	11.9

② 文化・芸術の振興を支援する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	文化会館主催事業 市民に芸術・文化の鑑賞機会を提供するため、文化会館の主催事業を実施	6本程度	7本程度	7本程度	継続して実施	百万円 5.0
	市民文化振興事業 文化芸術団体等の成果発表等の場の提供、ミュージカル制作・公演費への補助等	実施	実施	実施	継続して実施	1.9
	文化会館管理運営事業 文化会館の管理運営	管理運営	管理運営	管理運営	継続して管理運営	96.7
	秋田県国民文化祭推進事業 26年度に開催される第29回国民文化祭のための事務	実施 (新規)	実施	実施	観光や文化団体との連携を検討	0.4

③ 歴史の里づくりを支援する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	檜山地域拠点施設整備事業 檜山地域の拠点施設の整備	旧センター 解体 (終了)			24年度で終了	百万円 3.3
市民	歴史の里づくり支援事業 檜山地域の歴史資源を活かした地域づくりへの支援等	実施	実施	実施	継続して実施	0.1
市民	檜山安東氏城館跡保存管理事業 国指定史跡である檜山安東氏城館跡の保存管理	保存管理	保存管理	保存管理	継続して保存管理	1.1
市民	歴史と文化市民意識高揚事業 歴史探訪会の実施、歴史ボランティアガイドへの支援等	実施	実施	実施	継続して実施	0.2

④ 文化財や歴史資料の調査・保存を行う

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	文化財保護事業 文化財保護・活用のための調査・管理等	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 1.2
	埋蔵文化財調査事業 開発行為等に係る遺跡調査のための試掘調査等	実施	実施	実施	継続して実施	0.1
	井坂記念館管理運営事業 木材産業史資料を収蔵・展示する井坂記念館の管理運営	管理運営	管理運営	管理運営	継続して管理運営	0.6
見直	二ツ井町歴史資料館管理運営事業 「道の駅ふたつ井」にある二ツ井町歴史資料館の管理運営	管理運営	管理運営	管理運営	道の駅との関連を含めあり方の抜本的見直しを検討	4.4
見直	市史編さん事業 能代地域の市史の刊行、史資料の保存等	刊行 (見直し)			25年度以降については検討	18.0

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (9)	だれもが気軽に楽しめるスポーツ
---------	-----------------

基本構想でめざす姿や状態

- スポーツを気軽に楽しみ、健康づくりや体力づくり、仲間づくりができること。
- スポーツに取り組める環境があり、競技力が向上すること。
- スポーツイベントなどを通じて、バスケの街として誇りが高まること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
スポーツに親しんでいる市民 (週一回以上)の割合	43.7% (H19年度)	50.0%	60.0%	市民意識調査
優良競技者・団体表彰数(栄光賞)	134人 (H19年度)	170人	190人	
スポーツ少年団認定指導者数	364人 (H19年度)	450人	維持	
バスケの街を他に誇れると思う 市民の割合	73.6% (H19年度)	75.0%	77.5%	市民意識調査

施策の体系

(9) だれもが気軽に楽しめるスポーツ

- ① スポーツを楽しめる環境を整える
- ② 競技スポーツの環境を確保する
- ③ 特色あるスポーツのまちづくりを展開する
- ④ 効率的で効果的な体育施設にする

実施事業の概要

① スポーツを楽しめる環境を整える

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	スポーツ教室開催・スポーツ大会支援等事業 スポーツ教室の開催、スポーツ大会開催費の補助、 体育協会への補助、「夢の教室」開催等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 4.1
市民	学校体育施設開放事業 学校の体育館をスポーツ愛好団体に開放	実施	実施	実施→	継続して実施	—

② 競技スポーツの環境を確保する

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	スポーツ少年団育成等事業 スポーツ少年団の育成支援及び選手派遣費の補 助、スポーツ指導者の養成等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 4.8
	全国大会等出場褒賞事業 全国大会等出場の優良競技者・団体の表彰	実施	実施	実施→	継続して実施	0.7
市民	スポーツ推進委員活動等事業 スポーツ推進委員の活動及び研修	実施	実施	実施→	継続して実施	1.3

③ 特色あるスポーツのまちづくりを展開する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	バスケの街づくり事業 バスケットボール普及事業、バスケットボール大会への補助、屋外リングボードの管理等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 1.1
市民	能代カップ高校選抜バスケットボール大会補助事業 能代カップ高校選抜バスケットボール大会への補助	補助	補助	補助→	継続して補助	2.1
市民	きみまちの里フェスティバル開催費補助事業 「きみまち二ツ井マラソン」等きみまちの里フェスティバル開催への補助	補助	補助	補助→	継続して補助	3.5

④ 効率的で効果的な体育施設にする

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	体育施設管理運営事業 5体育館・B&G海洋センター・7野球場・4テニスコート・陸上競技場・市民プール・弓道場の管理運営	管理運営	管理運営	管理運営→	24年度より指定管理を実施	百万円 163.5
	ソフトボール場整備事業 落合三面球場のC球場をソフトボール場2面に転用	転用工事 (新規)→			24年度に実施	22.7
	スポーツリゾートセンター運営事業(広域負担金) 能代山本広域市町村圏組合のスポーツリゾートセンター「アリナス」運営への負担	管理運営	管理運営	管理運営→	継続して運営	76.6

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (10)	認め合い支え合う社会づくり
----------	---------------

基本構想でめざす姿や状態

- 性別や国籍などにかかわらず、一人ひとりの個性や能力を発揮できること。
- 人権意識や平和意識が浸透すること

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると思う市民の割合	8.5% (H19年度)	20.0%	30.0%	市民意識調査

施策の体系

(10) 認め合い支え合う社会づくり

- ① 男女共同参画意識を広める
- ② 国際理解を広める
- ③ 人権意識や平和意識を守る

実施事業の概要

① 男女共同参画意識を広める

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	男女共同参画推進事業 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動等	実施 (拡充)	実施	実施	24年度より毎年11月を男女共同参画月間とする	百万円 0.6

② 国際理解を広める

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	日本語学習ふれあい交流支援事業 日本語講座、日本語指導ボランティア養成講座の開催	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 1.7

③ 人権意識や平和意識を守る

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	人権擁護活動事業 人権擁護委員協議会の活動費への助成及び人権啓発活動	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 1.0
	保護司会活動促進事業 保護司会の活動費への助成等	実施	実施	実施	継続して実施	0.1
	戦没者追悼式・平和祈念式典開催事業 戦没者追悼・平和祈念式典の開催	実施	実施	実施	継続して実施	0.2

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (1)	環境を核とした活力ある産業創出
---------	-----------------

基本構想でめざす姿や状態

- 地域資源の活用により、産業の創出や関連企業の立地につながることを。
- 能代港の利活用により、地域に活気が出ることを。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
資源リサイクル関連施設・増設企業数	0件 (H18年度)	5年間で5件	10年間で10件	
地域資源を活用した商品や製品を利用することを心がけている市民の割合	34.2% (H19年度)	45.0%	55.0%	市民意識調査
能代港の外港・内港商船入港船舶数(能代火力発電所専用棧橋を除く)	277隻 (H18年)	330隻	350隻	
能代港の貨物量(能代火力発電所専用棧橋を除く)	483,562 t (H18年)	547,000 t	571,000 t	

施策の体系

(1) 環境を核とした活力ある産業創出

- ① 資源リサイクル産業を創出する
- ② 能代港利活用の環境を整える
- ③ バイオマス関連産業を創出する

実施事業の概要

① 資源リサイクル産業を創出する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	港湾利活用地域振興基金事業 港湾利活用地域振興基金を活用したリサイクル関連施設整備、関連企業立地等の支援	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 1.5

② 能代港利活用の環境を整える

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	能代港利活用促進事業 港湾利活用促進のための情報収集及び企業訪問活動等	実施 (拡充)	実施	実施	24年度にまなす画廊に共用自転車設置	百万円 2.8
	能代港改修事業(県事業負担金) 県が実施する重要港湾改修事業への負担	実施	実施	実施	継続して実施	7.5
市民	みなと祭り補助事業 港をPRするためのイベント開催への補助	補助	補助	補助	継続して補助	1.1

③ バイオマス関連産業を創出する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点 見直	バイオマスタウン構想推進事業 能代市バイオマスタウン構想推進のためのバイオマス利活用の調査研究等	実施	実施	実施→	これまでの実績の 検証と事業の見直しを検討	百万円 1.3

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (2)	雇用を産み出す企業立地
---------	-------------

基本構想でめざす姿や状態

- 新たな企業立地や起業により、若い人を中心に雇用やチャレンジの機会が増えること。
- 企業誘致に関する情報が十分に企業に伝わり、企業立地につながること。
- 地域と企業の連携により、雇用創出などの効果を発揮できること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
新設・増設企業数(リサイクル 関連企業数を含む)	3件 (H18年度)	5年間で10件	10年間で15件	
有効求人倍率	0.40倍 (H18年度)	県平均に近づける	県平均を上回る	
新規高卒者の就職内定率	95.9% (H18年度末)	99.0%	維持	

施策の体系

(2) 雇用を産み出す企業立地	① 企業誘致を進める
	② 地元企業や進出企業を活性化する
	③ 起業しやすい環境を整える
	④ 若年者を中心に雇用を確保する

実施事業の概要

① 企業誘致を進める

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	企業開発事業 工場等の新增設への奨励措置、企業立地促進のための情報収集、企業訪問等	実施 (拡充)	実施	実施	24年度に関東圏企業誘致セミナーを開催	百万円 11.0
	能代工業団地交流会館管理運営事業 能代工業団地内企業の従業員等の交流や福利厚生を図るための交流会館の管理運営	管理運営	管理運営	管理運営	継続して管理運営	4.5

② 地元企業や進出企業を活性化する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	中小企業融資あっせん等事業 事業資金を必要とする中小企業者への融資あっせん等	融資あっせん等	融資あっせん等	融資あっせん等	継続して実施	百万円 407.6
	東北地方太平洋沖地震復旧支援資金利子補給費補助事業 県で実施した東北地方太平洋沖地震復旧支援資金を利用した市内事業者に対する利子補給	実施	実施 (終了)		25年度で終了	64.0
見直	商工会議所・商工会補助事業 能代商工会議所及び二ツ井商工会の事業等への補助	補助	補助	補助	補助基準の見直しを検討	6.3
	のしろ産業フェア補助事業 地域産業の振興を図るためのPRイベント等に対する補助	補助	補助	補助	継続して補助	2
	秋田杉の里二ツ井まつり補助事業 二ツ井地域の産業振興のためのPRイベント等に対する補助	補助	補助	補助	継続して補助	0.1
	伝統的工芸品等振興支援事業 伝統的工芸品等産業における中小企業等への支援	(制度設計) (新規)	(支援)	(支援)	25年度より支援開始	—

③ 起業しやすい環境を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	起業・新商品開発等支援事業 起業や新商品開発、異業種参入に助成、地域資源活用等による商品開発に重点的に支援	支援	支援	支援	継続して支援	百万円 6.2
重点	チャレンジショップ事業 新たな事業の試行を支援するための貸しスペースの設置	実施 (終了)			24年度に成果を検証し今後の事業を検討	2.3

④ 若年者を中心に雇用を確保する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	地域雇用総合対策事業 新卒者の就業支援及び求職者の面接機会の確保	実施 (縮小)	実施	実施	23年度で県補助金が終了するが一部事業を引き続き実施	百万円 0.8
見直	デュアルシステム事業 就職希望の高校3年生等を地元就職・定着に結び付けるための地元企業での職業実習等	実施 (検証)	実施	実施	24年度に事業効果を検証	1.1
	中小企業緊急雇用安定助成事業 国の中小企業緊急雇用安定助成金を受給した企業に対する市の嵩上げ助成	助成	助成	助成	継続して助成	1.5
	地域総合整備資金貸付事業 ふるさと財団のふるさと融資制度に基づく民間事業活動への無利子貸付	(貸付)	(貸付)	(貸付)	ふるさと融資制度に基づき該当事業へ貸付	—
	就職推進員設置事業 内職希望者等の相談、紹介、情報提供のための就職推進員の設置	実施 (拡充)	実施	実施	23年度で終了のハローワーク等からの派遣の代替を配置	1.1

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (3)	力強く持続する農業
---------	-----------

基本構想でめざす姿や状態

- 地元産の農産物や加工品の市場評価が高まり、産地として確立すること。
- 農業が魅力的な職業として成り立ち、若い人を中心に農業の担い手が増えること。
- 農業の生産性が高まり、経営の強化につながる。
- 食の大切さへの理解が深まり、食育が浸透して実践につながる。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
野菜作付面積	745ha (H17年度)	740ha	維持	
担い手農地集積率(個人・集団を含む)	46.8% (H17年度)	74.3%	増加に努める	
地元産の農産物は安全でおいしいと思う市民の割合	77.5% (H19年度)	80.0%	85.0%	市民意識調査
学校給食で使用している野菜類のうち秋田県産の割合	28.8% (H18年度)	35.0%	40.0%	

施策の体系

(3) 力強く持続する農業

- ① 安全・安心で消費者ニーズに対応した農業を確立する
- ② 農業の担い手を育成する
- ③ 農業生産を効率化する
- ④ 農地を保全する

実施事業の概要

① 安全・安心で消費者ニーズに対応した農業を確立する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	畑作技術振興事業 野菜・花き生産農家の生産技術向上のための農業 技術センターでの栽培実証等	実施	実施	実施→	他機関との連携 (人的援助の可能 性等)を検討	百万円 6.7
	農産物販路拡大対策事業 首都圏等での販売、取引先との交流等	実施	実施	実施→	継続して実施	0.8
重点	野菜産地拡大対策補助事業 市の戦略作物の栽培面積拡大分に対する育苗資材 費への助成等	補助	補助 (終了)→		25年度で終了(畑 作振興基金事業)	5.0
重点	みょうが根茎腐敗病被害対策補助事業 みょうが根茎腐敗病の防除剤の購入に対して助成	補助	補助 (終了)→		25年度で終了(畑 作振興基金事業)	4.5
	カドミウム吸収抑制対策技術普及推進事業 秋田県カドミウム吸収抑制協議会で実施しているカ ドミウム高吸収稲品種の実証試験費用の負担	実施	実施 (終了)→		25年度で終了	0.2
	湛水管理支援事業 カドミウム含有米の発生抑制のため、出穂期前後3 週間の湛水管理を実施	実施	実施 (終了)→		県補助金の終了す る25年度で終了	2.3
	環境保全型農業直接支援事業 化学肥料、農薬を5割以上低減かつ温暖化防止等 に効果が高い営農活動に取り組む農業者を支援	支援	支援	支援→	継続して支援	0.8
	食育推進事業 食育と地産地消を推進するための活動等	実施	実施	実施→	継続して実施	0.3
	稲作病虫害防除対策補助事業 病虫害の発生防止のための無人ヘリの一斉防除に 対して助成	助成	助成	助成 (終了)→	26年度で終了	4.5
	第135回秋田県種苗交換会補助事業 種苗交換会と同時開催の協賛行事を主催する協賛 会への補助	補助 (新規)→			24年度で終了	35.0

② 農業の担い手を育成する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	あきたを元気に！農業夢プラン実現補助事業 複合経営に取り組む農業者の農業機械・施設導入費に対して助成	補助	補助	補助 (縮小)→	畑作振興基金による拡大分は25年度で終了	百万円 73.9
重点	がんばる農業者総合支援対策補助事業 認定農業者を旨とする農業者の農業機械・施設導入費、特別栽培農産物認証経費等に助成	補助	補助	補助 (縮小)→	畑作振興基金による拡大分は25年度で終了	6.5
重点	畑作就農定着促進事業 ねぎ等の主要作物の農業技術を学ぶための農業技術センター等での研修	実施	実施	実施→	継続して実施	3.6
重点	未来農業のフロンティア育成研修事業 新規就農等のため、県内の研究機関や花き種苗センター等で研修する際に奨励金を交付	実施	実施	実施→	継続して実施	1.2
重点 市民	畑作定着ブラザー事業 新規就農者等へ地域のベテラン農業者による栽培技術の指導	実施	実施 (終了)→		25年度で終了（畑作振興基金事業）	0.5
市民 見直	市民菜園事業 市民の健全な余暇活用と農業への理解を深めるために市民菜園を開設	実施 (見直し)	実施	実施→	利用者管理への移行を検討	0.2

③ 農業生産を効率化する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	モミガラ補助暗渠施工支援補助事業 戦略作物等の高収量・高品質化のためのモミガラ補助暗渠施工へ嵩上げ補助	補助	補助 (終了)→		25年度で終了（畑作振興基金事業）	百万円 1.0
重点	畑作生産基盤改善支援事業 畑作ほ場の土壌改善のための排水対策、地力増強対策に助成	助成 (新規)	助成 (終了)→		25年度で終了（畑作振興基金事業）	1.1
	カントリーエレベーター利用向上対策補助事業 利用農家の負担軽減及びカントリーエレベーターの利用率向上のための助成	補助 (新規)	補助	補助→	継続して実施	5.7
	県営ため池等整備事業（県事業負担金） 県が実施するため池等整備事業への負担	矢崎地区 (終了)→			24年度で終了	1.5
	県営ほ場整備事業（県事業負担金） 県が実施するほ場整備事業への負担	常盤本郷 轟	下田平	荷上場 下田平→	継続して負担	9.5

④ 農地を保全する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	農地・水保全管理支払交付金事業 地域の農地・水・環境の良好な保全を図るために農村集落における地域活動を支援	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 42.5
	中山間地域等直接支払交付金事業 農業生産条件が不利な中山間地域の農地保全等のための活動に対する助成	実施	実施	実施→	現行制度が26年度で終了予定	5.0
				(終了)		
重点	不作付け水田等再生活用事業 不作付地として3年以上経過した農地の再生作業費に対する助成	実施	実施→		25年度で終了（畑作振興基金事業）	0.4
		(新規)	(終了)			
市民	空き家・空き農地情報化事業 農村部への定住促進を図るために空き家・空き農地情報をホームページに掲載	実施	実施	実施→	継続して実施	0.1
	鳥獣被害（農作物）防止対策事業 ニホンザルやツキノワグマによる農作物の被害を防止するための捕獲や追い上げを実施	実施	実施	実施→	継続して実施	3.3

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (4)	山・川を生かす林業・木材産業・水産業
---------	--------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 秋田スギの利用が進み、林業や木材産業の経営強化につながる。
- 秋田スギの良さを伝え、木のまちとして、街なかに木のぬくもりを感じられること。
- 産学官が連携して調査や研究が進み、林業や木材産業の育成につながる。
- 森林の手入れや保全により、水の貯留や浄化などの機能を維持でき、水産資源の持続的な利用につながる。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
木材製品出荷額	22,782百万円 (H18年)	23,000百万円	維持	
木のぬくもりや木のまちとしての雰囲気があると思う市民の割合	35.9% (H19年度)	55.0%	70.0%	市民意識調査
木の学校利用者数	10,975人 (H18年度)	13,000人	15,000人	
共同研究等(委託含む)で実際に商品化できた件数	0件 (H18年度)	2件	5件	
松くい虫被害量	970m ³ (H18年度)	750m ³	500m ³	
漁獲高(海)	159 t (H17年度)	159 t	維持	

施策の体系

(4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業

- ① 木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業を確立する
- ② 木材関連の高度な機能を活用する
- ③ 木に親しめるまちづくりを進める
- ④ 林業生産を効率化する
- ⑤ 森林や川を保全する
- ⑥ 水産業を振興する

実施事業の概要

① 木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業を確立する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	地場産材PR支援事業 首都圏等で開催される見本市等への出展への支援	支援	支援	支援	継続して支援	百万円 0.4
	地場産材供給促進事業(緊急雇用事業) 被災地を中心にした木材需要等の情報収集、供給可能な建築用部材について情報発信を実施	実施 (新規)			24年度に実施	9.9
重点	木製品研究開発支援事業 木材利用推進のため幅広い分野への製品開発を支援	支援	支援	支援	継続して支援	0.5
	地場産材活用住宅供給促進事業 秋田スギ厚板活用住宅の供給体制整備のための検討委員会の開催、性能試験等	実施	実施 (終了)		25年度で終了	7.6

② 木材関連の高度な機能を活用する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
見直	秋田県木材加工推進機構支援事業 木材高度加工研究所と業界の連携を図る秋田県木材加工推進機構との交流活動等への支援	支援	支援	支援	機構のあり方について検討	百万円 2.0
見直	技術開発センター事業 技術開発センターの管理、木材業者に対する技術指導、木材加工機械の貸出し等	実施	実施	実施	施設のあり方の見直しを検討	16.7

③ 木に親しめるまちづくりを進める

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
見直	木のまちづくり推進事業 秋田スギの温もり補助金として、住宅の新築・増改築等の秋田スギ内外装材使用に対して補助	実施 (検証)			これまでの効果を検証し、今後の事業を検討	百万円 5.0
市民	木の学校事業 木の学校の管理、木の良さ・大切さをPRするための木工教室、木工体験等の実施	実施	実施	実施	継続して実施	5.3

④ 林業生産を効率化する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	森林整備事業 市有林の良質材生産と森林の多面的機能を保全するために間伐等を実施	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 34.7
重点	森林資源供給基地整備事業 木材生産を強化するため、森林の団地化を行い、団地化区域の間伐、作業道開設に助成	助成 (新規)	助成	助成	24年度より実施	12.0
重点	森林資源供給システム構築事業 原材料の安定供給のため、一定年数内の出材量見込みや森林の収支予測等のシステム構築を実施	実施 (新規)	実施	実施	24年度より実施	1.5
	林道西ノ沢小滝線開設事業 森林管理道の開設工事(計画開設延長4,700m)	計画延長 713m	計画延長 680m	計画延長 480m	26年度で終了予定	63.5
				(終了)		
	林道米代線開設事業(県事業負担金) 県が実施する林道米代線開設事業への負担	整備 (終了)			24年度で終了	5.8
	林業専用道梅内沢線整備事業(県事業負担金) 県が実施する林業専用道梅内沢線整備事業への負担(計画開設延長1,980m)	計画延長 600m	計画延長 680m		25年度で終了予定	3.0
			(終了)			

⑤ 森林や川を保全する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	松くい虫対策事業 松林を松くい虫から保護するための伐倒駆除及び 薬剤散布等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 42.8
	松くい虫対策市民活動支援事業 個人の庭木等の松くい虫被害木の抛出処理	支援	支援	支援→	継続して支援	1.8
	森林整備計画推進事業 施業履歴が確認できない森林について、間伐等の 必要性を評価	実施 (新規)	実施	実施→	24年度より実施	1.0
	梅内地区治山事業 崩落箇所の治山事業を実施	設計 工事 (新規)			24年度で実施	7.0

⑥ 水産業を振興する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	水産業振興事業 内水面漁業振興のための稚魚放流等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 0.2

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (5)	まちなのにぎわいをつくり出す商業
---------	------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 商店街に人が集まり、交流やにぎわいが生まれ、街に活気があること。
- 商店街や個店に特色があり、空き店舗の活用が進むこと。
- 商店街と大型店の連携があり、市外に出なくても買い物ができること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
地元商店街や近所の商店を利用することを心がけている市民の割合	45.7% (H19年度)	58.0%	70.0%	市民意識調査
商店街の空き店舗率	18.5% (H18年度)	18.5%	維持	

施策の体系

(5) まちなのにぎわいをつくり出す商業

- ① 歩きたくなる商店街づくりを支援する
- ② 中心商店街の空き店舗流動化を進める
- ③ 商店街のイベントなどを支援する

実施事業の概要

① 歩きたくなる商店街づくりを支援する

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	中心商店街活性化促進事業 商店街振興組合等が実施する環境整備事業に対して支援	(支援)	(支援)	(支援)	商店街振興組合等の取組に支援	百万円 —
	のしろ木工品市場事業（緊急雇用事業） 能代の木工品を集めた展示販売場所の設置、出張販売等の実施	実施 (新規)			24年度に実施	6.7
市民	市民プラザ事業 市民プラザ、ビジターセンターの運営管理	運営管理	運営管理	運営管理	継続して管理	9.9
	能代街なか商業情報発信調査事業（緊急雇用事業） 商業振興による街なか活性化のための各個店の情報発信を支援	実施 (終了)			25年度以降については民間へ移行を検討	6.5
市民	ニツ井中心部にぎわい創出推進事業 ニツ井中心部の商店街団体等が実施する空き店舗等を活用した事業に対する支援	実施	実施	実施	自主性の醸成と積極的な事業展開の支援を検討	0.3
市民 見直	ニツ井地域商業振興事業 ニツ井地域の商店会等の事業への補助	補助	補助	補助	自主性の醸成と積極的な事業展開の支援を検討	0.8

② 中心商店街の空き店舗流動化を進める

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	空き店舗流動化支援補助事業 空き店舗取得者・賃貸者への改装費等の補助、賃貸者への固定資産税相当額の補助	補助	補助	補助	継続して実施	百万円 7.0

③ 商店街のイベントなどを支援する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	商店街活性化補助事業 商店街団体等のイベント、販売促進活動や空き店舗 等を活用する企画などに対する支援	補助	補助	補助	継続して支援	百万円 1.0

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (6)	豊かな自然とその恵みを活かす観光
---------	------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 観光による交流やにぎわいが生まれ、地域に活気があること。
- 豊かな自然や特色ある郷土料理など、地域資源の魅力により、来訪者の満足度が高まること。
- 観光やイベントの宣伝ができていて、地域のイメージが高まること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
観光客入込数	1,397,546人 (H19年)	1,600,000人	1,800,000人	
豊かな自然や特色ある郷土料理 など、他に誇れる観光資源があ ると思う市民の割合	46.1% (H19年度)	56.0%	70.0%	市民意識調査

施策の体系

(6) 豊かな自然とその恵みを活かす観光

- ① 自然や食などを堪能できる環境を整える
- ② 観光素材をメニュー化して受入体制を整える
- ③ 人を迎え入れる情報受発信を充実する
- ④ 交流が広がるイベントや行事を支援する

実施事業の概要

① 自然や食など堪能できる環境を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	風の松原案内事業 「サン・ウッド」に風の松原案内スペース、散策用自転車を設置	実施	実施	実施	継続して実施	※観光宣伝事業に含まれる
市民	食彩人支援事業 「食」の宣伝のために実施する能代観光協会の食彩人事業への支援	支援	支援	支援	継続して支援	—
	伝統的工芸品等物産振興事業 首都圏等での物産販売、伝統工芸品振興のための負担等	実施 (拡充)	実施	実施	24年度より出店回数を拡充	2.0
	能代ねぶながし館管理事業 能代エナジウムパーク内の能代ねぶながし館に展示している七夕灯ろうの管理	管理	管理	管理	継続して管理	0.1
	共用自転車駐輪場管理事業 サイクルステーション及び共用自転車の管理	実施 (終了)			観光用途における利用は24年度で終了し、25年度以降については検討	2.3
市民	きみまち阪公園休憩所等施設整備事業 公園内の売店等の整備及び眺望確保のための樹木伐採	実施 (新規)	実施 (終了)		関係課との連携を図り、地域一体となった取組の検討	21.4

② 観光素材をメニュー化して受入体制を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	旧金勇保存活用事業 国登録有形文化財であり木都能代を象徴する旧料亭金勇の保存と活用	実施設計 改修工事	改修工事 供用開始	保存活用	24年度より改修事業を実施	百万円 4.9
市民	地域資源活用観光力向上事業（緊急雇用事業） カヌー等の地域資源を活用して観光振興に結び付けるための基盤づくりを実施	実施 (新規)			24年度に実施	2.6
	能代観光協会補助事業 能代観光協会内に観光専門家を配置するため助成を実施	補助 (新規)	補助	補助	24年より補助	6.3
市民	グリーンツーリズム推進事業 農家民泊を含めた体験型の教育旅行等の受入体制整備等	実施	実施	実施	継続して実施	0.5
市民	滞在型観光推進事業 各種キャンペーン活動及び誘客活動等	実施	実施	実施	事業効果の検証と秋田DCに向けた独自の取組を検討	2.4
	五能線沿線観光等推進事業 五能線沿線をPRするための誘客活動等	実施	実施	実施	継続して実施	0.3
市民	大館能代空港利用促進事業 大館能代空港の利用促進及び需要拡大のための活動	実施	実施	実施 (縮小)	航空機運賃助成は25年度までに終了	16.3

③ 人を迎え入れる情報受発信を充実する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点 見直	観光案内所設置事業（緊急雇用事業） 観光案内所の設置	実施 (新規)			24年度中に県補助金終了後の体制について検討	百万円 5.7
	道の駅整備事業 道の駅整備の検討	通行量調査 (拡充)	用地測量 基本設計等	用地取得等	24年度に民間との研究会を設置し可能性を検討	1.7
	観光宣伝事業 観光パンフレット作成、誘客宣伝活動等	実施	実施	実施	継続して実施	4.0
	能代山本広域観光事業（県事業負担金） 山本地域振興局が行う能代山本圏域の観光マップや観光宣伝ホームページ作成費用に係る負担金	実施 (新規)	実施	実施 (終了)	事業の推進に積極的に関わること	0.9
見直	能代PR大使事業 首都圏等在住者をPR大使として委嘱し、PR活動や情報収集等を実施	実施 (見直し)			24年度中に今後の必要性について検討	0.2
市民	能代フィルムコミッション補助事業 能代フィルムコミッションの事業に補助	補助	補助	補助	継続して補助	0.2
	道の駅ふたつ管理事業 道の駅ふたつの二ツ井総合観光センター、リフレッシュトイレ、駐車場の管理等	管理	管理	管理	継続して管理	4.7
	道の駅ふたつ観光強化事業（緊急雇用事業） 道の駅ふたつの観光機能強化のため、HP等での情報発信、チラシ作製等を実施	実施 (新規)			24年度に実施	2.7

④ 交流が広がるイベントや行事を支援する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民 見直	行事観光支援事業 おなごりフェスティバル、能代港まつり花火大会、観光協会への補助等	支援	支援	支援	観光協会の統一を検討	百万円 16.9
市民	大型七夕復活推進事業（緊急雇用事業） 大型七夕を復活させ、交流人口の増加と地域活性化のためのイベントとして開催する準備を実施	実施			24年度に実施	百万円 8.6
		(新規)				

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (7)	自然と共生し地域で支える環境保全
---------	------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 自然と親しみ、自然を通して人がふれあい、地域の財産として保全と活用ができること。
- 環境問題に対して適正に対処し、良好な環境を保全できること。
- 身近な環境や自然、エネルギーに関する理解が深まり、地域ぐるみの環境活動につながる。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は、他に誇れると思う市民の割合	71.7% (H19年度)	81.0%	90.0%	市民意識調査
環境自治体スタンダード(LAS-E)の合格ステージ	第1ステージの合格 (H19年度)	第2ステージ、エコアクション部門の合格	着実にレベルを上げる	

施策の体系

(7) 自然と共生し地域で支える環境保全

- ① 環境保全の活動や学習を広める
- ② 優れた自然環境を保全する
- ③ 環境調査や環境対策を適正に行う
- ④ 新エネルギーを導入・普及する

実施事業の概要

① 環境保全の活動や学習を広める

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	環境のまちづくり推進事業 資源循環に取り組む市民活動に対する補助、環境のまちづくりの啓発活動等	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 1.0
市民 見直	環境マネジメントシステム推進事業 環境自治体スタンダード(LAS-E)を活用して環境マネジメントを実施	実施 (検証)	実施	実施	24年度に効果の検証と今後について見直しを検討	1.2
市民	環境学習推進事業 子ども環境探偵団及び環境大学講座の開催等	実施	実施	実施	継続して実施	0.1

② 優れた自然環境を保全する

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	環境保全活動事業 小友沼及び周辺環境保全など自然環境保全のための活動等	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 0.6

③ 環境調査や環境対策を適正に行う

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	一般環境調査事業 地域環境の実態把握のための水質調査及び土壌調査等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 4.3
	産業廃棄物最終処分場関連環境調査事業 旧能代産業廃棄物処理センターの周辺環境を把握するための水質調査	実施	実施	実施→	継続して実施	1.5

④ 新エネルギーを導入・普及する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	再生可能エネルギー導入促進事業 再生可能エネルギービジョンの策定及び再生可能エネルギー発電事業化調査の実施	実施 (新規)	(実施)	(実施)→	25年度以降の事業は策定するビジョンの中で検討	百万円 19.6

(基本目標 2 元気とうるおいのまち)

政 策 (8)	資源を大切に社会を持続できる衛生環境
---------	--------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 普段の生活からごみの減量化や資源化が進むこと。
- 環境に対する意識が高まり、いつもまちがきれいであること。
- 生活上の衛生が保たれること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
1人1日あたりごみ排出量	642g (H18年度)	544g	544g以下	
限りある資源を大切にすため、紙類などを資源ごみに分別することを心がけている市民の割合	88.5% (H19年度)	92.0%	95.0%	市民意識調査

施策の体系

(8) 資源を大切に社会を持続できる衛生環境

- ① ごみの減量化や資源化を進める
- ② 廃棄物を適正に処理する
- ③ 生活上の衛生環境を保つ
- ④ 衛生施設を適正に管理する

実施事業の概要

① ごみの減量化や資源化を進める

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	モア・リサイクルプラン推進事業 廃棄物減量等推進員の活動支援、資源回収団体への支援、ごみ減量化の啓発活動等	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 1.4
	ごみ収集運搬事業 ごみの収集と運搬	実施	実施	実施	継続して実施	169.2
	リサイクルセンター管理事業 リサイクルセンターの管理、容器包装プラスチック分別保管等	実施	実施	実施	継続して実施	16.0

② 廃棄物を適正に処理する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	ごみ・し尿処理事業(広域等負担金) 能代山本広域市町村圏組合等で実施するごみ処理及びし尿処理への負担	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 723.0
見直	日影沢最終処分場管理事業 日影沢最終処分場の管理	管理	管理	管理	手数料の見直し及び廃止時の取り扱いについて検討	26.6
	大沢ごみ処理場管理事業 大沢ごみ処理場を閉鎖するための監視調査	監視調査	監視調査	監視調査	継続して調査	2.2

③ 生活上の衛生環境を保つ

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	害虫駆除等事業 スズメバチ駆除用具の貸与等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 —
	狂犬病予防事業 犬の登録及び狂犬病予防接種	実施	実施	実施→	継続して実施	0.6

④ 衛生施設を適正に管理する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	斎場管理等事業 市斎場の管理、藤里町斎場利用に対する負担	管理・修繕	管理・修繕	管理・修繕→	継続して実施	百万円 29.4
	墓地管理事業 市営墓地の管理	管理	管理	管理→	継続して管理	4.2

(基本目標 3 安全と安心のまち)

政 策 (1)	安全な暮らしを守る防災・防犯体制
---------	------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 普段から消防や防災、防犯の意識を持ち、犯罪やトラブルがなく、地域が安全で暮らしやすいこと。
- 安全に通行できる環境があり、交通安全の意識が浸透し、交通事故を防げること。
- 子どもや高齢者など弱い立場の人の被害を防げること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
災害などもしもの場合に普段から備えることを心がけている市民の割合	25.5% (H19年度)	30.0%	40.0%	市民意識調査
防災訓練参加者数	6,269人 (H19年度)	7,100人	7,600人	
消防団員の定員の充足率	86.8% (H19年度)	88.0%	維持	
がけ地近接等の危険住宅の戸数	62戸 (H19年度)	61戸	60戸	
能代警察署管内の交通事故死者数	5人 (H18年)	4人	3人	
能代警察署管内の犯罪件数	610件 (H18年)	550件	500件	

施策の体系

(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

- ① 防災・防犯・交通安全の地域活動を広める
- ② 災害に強い消防・防災体制を整える
- ③ 生活相談がしやすい体制を整える
- ④ 交通安全や防犯の環境を整える
- ⑤ 危険箇所の災害を防止する

実施事業の概要

① 防災・防犯・交通安全の地域活動を広める

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	防災対策事業 防災計画等の推進、救援物資の備蓄、防災行政無線の管理等	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 7.3
市民	防災訓練事業 防災訓練の実施	実施	実施	実施→	継続して実施	0.2
市民	水防訓練事業 水防訓練の実施	実施	実施	実施→	継続して実施	1.1
市民	災害時要援護者避難支援プラン策定事業 要援護者の把握と一人ひとりの避難支援計画の作成等	個別計画 策定	個別計画 策定	個別計画 策定→	登録者数の増加策 を検討	7.1
市民	防犯運動促進事業 防犯指導員の活動及び防犯協会の支援等	実施	実施	実施→	継続して実施	1.2
市民	交通安全運動等活動促進事業 交通指導員の活動等	実施	実施	実施→	継続して実施	6.2

② 災害に強い消防・防災体制を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	常備消防運営事業（広域負担金） 能代山本広域市町村圏組合に設置している消防本部の運営、消防設備整備等への負担	本部運営	本部運営	本部運営	継続して運営	百万円 1,048.0
	防災行政無線（固定系）施設整備事業 二ツ井地域のシステムと統合し、市内全域に防災行政無線を整備	整備工事	整備工事	整備工事	26年度で終了予定	195.9
	防災行政無線難視聴対策事業 二ツ井地域の防災行政無線難視聴区域解消のための子局及び戸別受信機の設置	整備 (終了)			24年度で終了	5.4
重点	防災対策設備等整備事業 災害時用特設公衆電話、非常用備蓄品、県総合防災システム整備、市防災計画見直し等を実施	実施 (新規)	実施	実施 (終了)	26年度に地域防災計画の見直し、津波ハザードマップの作成	17.3
	耐震性貯水槽整備事業 震災時における消防水利確保のため、耐震性貯水槽を整備	3基 (新規)	3基程度	4基程度	24年度より実施	43.8
	上水道消火栓新設等事業 消防水利確保のための上水道消火栓の整備	新設8基 更新15基	更新15基	新設18基 更新15基	新設は配水管の布設に合わせ、更新は経過年数が古い順に実施	10.0
市民	消防団員活動等事業 消防団の運営及び消防団員の活動等	実施	実施	実施	継続して実施	35.2
市民	少年消防クラブ防災実践活動事業 能代市少年消防団の活動等	実施	実施	実施	継続して実施	0.2
重点 市民	消防団員の確保と活動しやすい環境づくり事業 事業所への協力要請、団員確保推進員の活動、団員募集等の実施	実施	実施	実施	継続して実施	0.7
	車庫兼休憩所改築等事業 消防団の老朽化した消防器具置場及び車庫兼休憩所の改築等	4箇所	4箇所程度	2箇所程度	消防団再編も視野に入れながら、年次計画で実施	29.6
	小型動力ポンプ積載車設置事業 消防団の老朽化した小型動力ポンプと積載車の更新	ポンプ4台・ 車2台	ポンプ4台・ 車2台程度	ポンプ4台・ 車2台程度	消防団再編も視野に入れながら、年次計画で実施	13.9
	消防ポンプ自動車設置事業 消防団の老朽化した消防ポンプ自動車の更新	1台更新	1台更新	1台更新	消防団再編も視野に入れながら、年次計画で実施	20.1
	ホース乾燥柱更新等事業 消防団の老朽化したホース乾燥柱及びサイレンの更新等	1基更新	1基更新 (終了)		25年度で終了	1.6
	防火水槽管理等事業 老朽化した防火水槽の解体等	2箇所解体			25年度以降も必要箇所を実施	11.9
	耐震診断事業（教育委員会施設） 昭和56年以前に建築された教育委員会施設の耐震診断を実施	文化会館 中央公民館 (新規)	3公民館	B&G 体育館 (終了)	3年間で実施	4.9

③ 生活相談がしやすい体制を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
見直	市民生活相談員設置等事業 市民生活相談員の設置等	実施	実施	実施	消費生活相談員との 兼務を検討	百万円 1.3
		(見直し)				
見直	消費生活相談員設置等事業 消費生活相談員の設置、消費者の会の活動支援等	実施	実施	実施	市民生活相談員との 兼務を検討	3.6
		(見直し)				

④ 交通安全や防犯の環境を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	交通安全施設整備事業 区画線、道路照明灯、道路反射鏡等の設置と維持補修	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 22.3
市民	街灯整備事業 街灯の設置と維持補修	実施	実施	実施	継続して実施	43.8

⑤ 危険箇所の災害を防止する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	米代川治水期成同盟会等活動事業 米代川治水のための整備等を流域市町村が一体となつて国に働きかける活動	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 0.5
	急傾斜地崩壊対策事業（県事業負担金） 県が実施する急傾斜地崩壊対策事業への負担	鵜渕地区	鵜渕地区	鵜渕地区	継続して実施	0.5
	がけ地近接等危険住宅移転事業 がけ地崩壊のおそれがある住宅の移転	(実施)	(実施)	(実施)	該当者の要望により 制度に基づいて実施	—

(基本目標 3 安全と安心のまち)

政 策 (2)	機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク
---------	-----------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 生活道路や歩道、排水路などの生活基盤が整っていて、安全で快適に暮らせること。
- 除排雪などに地域住民やボランティアなどの協働態勢が整っていて、季節を問わず安全に通行できること。
- 路線バスなどの交通手段が整っていて、快適に移動できること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
道路の整備延長 (改良率)	55.9% (H19年度)	56.5%	57.0%	
道路の整備延長 (舗装率)	68.0% (H19年度)	69.5%	71.0%	
除排雪や清掃活動など、近所や自治会・町内会などで協力しあう体制が整っていると思う市民の割合	42.9% (H19年度)	48.0%	53.0%	市民意識調査
巡回バスの1便平均利用者数	14.1人 (H18年度)	16.0人	18.0人	

施策の体系

(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

- ① 道路整備や排水対策などを連携して行う
- ② 除排雪を連携して行う
- ③ 効率的な交通網を確保する
- ④ 利便性の高い交通ネットワークを確立する

実施事業の概要

① 道路整備や排水対策などを連携して行う

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	地域の生活環境整備事業 市道等の維持補修を自治会・町内会等と協働で実施	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 5.4
市民	側溝等改良事業 道路の拡幅及び側溝等の整備	道路・側溝 7箇所	道路・側溝 7箇所	道路・側溝 7箇所	地域住民との協働 による取組を拡大	37.8
	道路改良事業 (能代地域) 能代地域の道路の拡幅及び側溝等の整備等	3路線 改良外	5路線 改良外	6路線 改良外	交付金制度を活用 して実施	212.8
	道路改良事業 (ニツ井地域) ニツ井地域の道路の拡幅及び側溝等の整備等	6路線 改良外	7路線 改良外	6路線 改良外	交付金制度を活用 して実施	100.0
市民 見直	中川原地区整備事業 中川原地区の生活環境を改善するための道路拡 幅・新設等	実施	実施	実施	地域住民と協議し ながら実施	100.2
市民 見直	向能代地区整備事業 向能代地区の生活環境を改善するための道路拡 幅・新設等	(実施)	実施	実施	地域住民と協議し ながら実施	—

② 除排雪を連携して行う

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	除排雪対策事業 道路の除雪及び防雪柵の設置・撤去等	実施	実施	実施	地域住民との協働 による取組を拡大	百万円 77.7
	防雪柵設置事業 固定式防雪柵の設置	2路線工事 2路線測量	2路線工事 (終了)		25年度で終了	63.0
	除雪車更新事業 老朽化した除雪車の更新	1台更新	2台更新	1台更新	交付金制度を活用 して実施	25.1

③ 効率的な交通網を確保する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	地域公共交通活性化事業 路線バス等の調査・分析、地域公共交通のあり方の 検討及び公共交通の利用促進活動等	実施 (拡充)	実施	実施	H24より乗合タク シー等の調査、実 証試験を実施	百万円 3.8
	生活バス路線等維持費対策事業 地域住民の生活に欠かせない路線バスの赤字路線 に対する補助、市街地巡回バスの運行	実施	実施	実施	継続して実施	71.7
見直	向能代駅管理事業 能代西高の通学生徒等の安全を確保するため、向 能代駅の管理を委託	管理	管理	管理	高校再編を見据え て管理の在り方の 見直しを検討	0.9

④ 利便性の高い交通ネットワークを確立する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
見直	道路関係整備促進期成同盟会等活動事業 日本海沿岸東北自動車道をはじめ、関係市町村が 国、県等に道路整備を働きかける活動	実施	実施	実施	活動のあり方の見 直しを検討	百万円 0.6
	秋田新幹線延伸等活動事業 秋田新幹線の延伸に関して国等へ働きかける活動	実施 (見直し)			24年度中に同盟会 の解散も含めあり 方を見直し	—

(基本目標 3 安全と安心のまち)

政 策 (3)	効果的で調和のとれた土地利活用
---------	-----------------

基本構想でめざす姿や状態

- それぞれの地域が持つ資源や特性、整備された生活基盤が活用され、この地域に合った良好な都市形成が進むこと。
- 定住人口や交流人口の確保により、中心市街地に活気があること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
中心市街地活性化重点区域の空き店舗率	20.5% (H18年度)	20.5%	維持	

施策の体系

(3) 効果的で調和のとれた土地利活用

- ① 地域の特性を活かした適正で効果的な土地利活用を進める
- ② 市街地の効果的な土地利用を進める

実施事業の概要

① 地域の特性を活かした適正で効果的な土地利活用を進める

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
見直	地籍調査事業 二ツ井地域の地籍調査	計画面積 0.13 k m ²	計画面積 0.17Km ² 程度	計画面積 0.17Km ² 程度	全体計画の見直し を検討	百万円 9.6
			(見直し)	→		
	農業振興地域整備計画事業 能代市農業振興地域整備計画に関する基礎調査 及び調査結果に基づく計画見直しを実施			計画 見直し →	26年度に実施	—

② 市街地の効果的な土地利用を進める

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点 市民	中心市街地活性化推進事業（緊急雇用事業） 中心市街地活性化計画に基づき、事業を推進	実施 (検証)	→		24年度にこれまでの 成果を検証し、 今後の事業を検討	百万円 6.8
	能代街なか商店街景観改修補助事業 街なかの景観向上によるイメージアップを図る等の ため、景観改修費用に対して補助	補助	補助	補助	継続して補助	5.0
	能代街なか商店街景観改修モデル事業 “木都能代”を象徴する取組みとして、景観改修を実 例で提案し、対外的にPRする	実施 (新規)	→		24年度に畠町新拠 点、市民プラザで 実施	10.1

(基本目標 3 安全と安心のまち)

政 策 (4)	快適で暮らしやすい住環境
---------	--------------

基本構想でめざす姿や状態

- 飲用水の確保や生活排水の処理などにより、衛生的で快適な生活環境になること。
- 情報通信技術を利用できる環境になること。
- 安らぎのある憩いの場として、公園や広場などを安心して利用できること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
水道普及率	85.6% (H17年度末)	86.0%	87.0%	
汚水処理人口普及率	57.7% (H18年度末)	67.6%	80.0%	
飲用水の確保や生活排水の処理 など、衛生的な生活環境は維持 されていると思う市民の割合	65.1% (H19年度)	69.0%	75.0%	市民意識調査
ブロードバンド世帯カバー率	98.9% (H19年度)	100.0%	100.0%	

施策の体系

(4) 快適で暮らしやすい住環境

- ① 居住環境を整える
- ② 水道を効率的に整備する
- ③ 下水道などを効率的に整備する
- ④ 情報通信の利用環境を整える
- ⑤ 親しまれる公園や河川にする

実施事業の概要

① 居住環境を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	耐震改修促進事業 昭和56年5月以前建築の木造戸建住宅の耐震診断 及び耐震改修に対する補助	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 1.2
	住宅リフォーム緊急支援補助事業 県で実施する住宅リフォーム緊急支援事業の上乗 せ補助	補助 (終了)→			24年度で終了	80.1
	市営住吉町住宅建替事業 老朽化が進む市営住吉町住宅の建替	入居者 移転等	公園整備 (終了)→		25年度で終了	32.6
	市営松山町・万町住宅建替事業 住生活基本計画に基づく松山町・万町住宅の建替 手法等の検討及び建替	入居者 移転等	実施	実施→	継続して実施	3.6
	公営住宅等長寿命化事業 公営住宅等長寿命化計画に基づき予防保全、長寿 命化改善を実施	大瀬・高 丘・山根	大瀬・高 丘・山根	大瀬・ 竹原→	交付金制度を活用 して実施	102.5
	市営住宅耐震診断事業 既設市営住宅の耐震診断	向ヶ丘・芝 童森・山根 (終了)→			24年度で終了	11.1
	市営住宅維持管理事業 市営住宅の維持管理	管理	管理	管理→	継続して管理	28.8
	住生活基本計画等策定事業 21年度に策定した住生活基本計画及び公営住宅等 長寿命化計画の見直しを実施			計画 見直し→	交付金制度を活用 して実施	—

② 水道を効率的に整備する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	管路近代化事業 上水道の老朽化した铸铁管の更新	実施	実施 (終了)		25年度で終了	百万円 67.0 (企業会計)
	老朽ビニール管更新事業 上水道の老朽化した硬質塩化ビニール管の更新			実施 (新規)	26年度より実施	— (企業会計)
	配水管等整備事業 上水道の配水管布設等水道施設の整備	実施	実施	実施	継続して実施	60.9 (企業会計)
	統合簡易水道事業 二ツ井・荷上場地区の水道施設の統合整備	配水場 工事等	浄水場 工事等	配水管 布設	継続して実施	351.8 (特別会計)
	簡易水道及び小規模水道施設整備費補助事業 民営の水道事業者が行う水道施設の改良事業等への補助	補助	補助	補助	継続して補助	1.4
	給水装置工事資金融資あっせん事業 給水区域内の井戸等使用者が全面的に上水道等に切り替える際の工事資金借入に対する利子補給	補助 (新規)	補助	補助	継続して補助	0.3
	水道等整備計画見直し事業 水需要予測、計画給水区域・給水人口・給水量、整備計画等の見直し		実施 (新規)		25年度に実施	—
	変更認可及び水利権更新事業 水道等整備計画の見直しに基づき、変更認可及び水利権更新を実施		実施 (新規)		25年度に実施	— (企業会計)

③ 下水道などを効率的に整備する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	公共下水道整備事業 公共下水道の整備	処理場 増設等	処理場 増設等	処理場 増設等	継続して実施	百万円 1,960.6 (企業会計)
	終末処理場管理事業 終末処理場の管理	管理	管理	管理	継続して管理	199.3 (企業会計)
	浄化槽設置整備事業（個人設置型） 能代地域の浄化槽整備として、個人設置に対して市が助成	85基	85基程度	85基程度	継続して管理	35.0
	浄化槽設置整備事業（市町村設置型） 能代地域の浄化槽恒久区域及び二ツ井地域において、浄化槽設置希望者に対して市が設置	103基 (拡充)	90基程度	90基程度	24年度から能代地域の浄化槽恒久区域も対象	81.8 (特別会計)
	農業集落排水事業 農業集落排水施設の管理	改修 管理	管理	管理	24年度に高度処理型改修を終了し、継続して管理	26.2 (特別会計)

④ 情報通信の利用環境を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	電子申請推進事業 行政手続きの電子申請の導入	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 —
	辺地共聴施設整備事業 地上デジタルテレビ放送の難視聴地区解消のため に行う自主共聴施設の改修に対する補助	大柄地区 (終了)→			24年度で終了	19.9

⑤ 親しまれる公園や河川にする

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	能代市緑の基本計画策定事業 今後の緑地保全、緑化推進の将来像、目標、施策 を定める基本計画を策定	策定 (新規)→			24年度で終了	百万円 8.0
市民	公園維持管理事業 公園の維持管理、公園愛護会の活動支援等	管理	管理	管理→	引き続き地域住民 との協働による取 組を拡大	47.2
	風の松原管理事業 風の松原の案内板・遊具等の維持管理	管理	管理	管理→	継続して管理	※公園維持 管理事業に 含まれる
	公園遊具等整備事業 高齢者の健康づくり向け遊具の設置や、地域の中心 となる公園での遊具等整備	3箇所	3箇所程度	4箇所程度→	継続して実施	6.8
	きみまち阪公園等整備事業 道の駅ふたついの遊びの広場、桜つつみ公園にある 危険遊具等の撤去、更新	実施 (新規)	実施 (終了)→		遊びの広場の遊具 設置は自専道の整 備状況により実施	2.5
	能代河畔公園整備事業 運動施設・教養施設・休養施設・避難場所等の総合 的な施設を備えた公園として整備	(実施)	鑑定・補 償調査	用地取得・ 移転補償→	継続して実施	—
	檜山川運河改修事業 準用河川檜山川運河の拡幅整備	2号橋 上部工	4号橋 下部工等	4号橋 上部工等→	継続して実施	50.9

(基本目標 3 安全と安心のまち)

政 策 (5)	安心でき健康を保てる医療体制
---------	----------------

基本構想でめざす姿や状態

- 身近にかかりつけ医がいて、気軽に相談でき、必要なときに必要なサービスや高度な医療を受けられること。
- 身近にできる救命技能や献血などが、地域医療を支えること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
身近なかかりつけ医を持っている市民の割合	66.2% (H19年度)	75.0%	85.0%	市民意識調査
身近なかかりつけ薬局を持っている市民の割合	51.0% (H19年度)	65.0%	75.0%	市民意識調査

施策の体系

(5) 安心できて健康を保てる医療体制

- ① 総合的な医療体制を確保する
- ② 効率的で利用しやすい医療体制を整える

実施事業の概要

① 総合的な医療体制を確保する

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	救急医療対策事業（広域負担金） 能代山本広域市町村圏組合で実施している休日・夜間医療の体制確保のための補助	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 15.2
	産科医等確保支援事業 山本組合総合病院において医師に支給する分娩時間外手当への補助	支援	支援	支援	継続して支援	4.0
	放射線治療装置等導入費補助事業 山本組合総合病院で導入した放射線治療装置及び治療計画用CT装置への補助	補助 (終了)			24年度で終了	11.6
	能代山本医師会病院増改築事業費補助事業 能代山本医師会病院の増改築事業費に補助	補助 (新規)	補助 (終了)		25年度で終了	111.4
市民	献血推進事業 献血協力者及び事業所への協力要請等	実施	実施	実施	継続して実施	0.4

② 効率的で利用しやすい医療体制を整える

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	福祉医療事業 乳幼児医療、高齢身障医療、重度身障医療、ひとり親家庭児童医療の自己負担への補助	実施	実施	実施	24年8月より乳幼児医療（県補助対象）を小学校まで拡大し、所得制限引き上げ	百万円 424.7
見直	市立診療所運営事業 常盤診療所、檜山診療所、鶴形診療所、富根診療所の運営	実施	実施	実施	診療所のあり方を検討	6.2

(基本目標 3 安全と安心のまち)

政 策 (6)	不安のない生活を支える社会保障制度
---------	-------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 社会保障制度が整っていて、安心して日常生活を送れること。
- 介護などが必要になったときに、必要なサービスや援助を受けられること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
要介護2～5に対する介護三施設等利用者の割合	58.3% (H19年度)	60.0%	維持	
介護三施設と地域密着型特養の利用者に対する要介護4・5の割合	63.6% (H19年度)	65.0%	維持	

施策の体系

(6) 不安のない生活を支える社会保障制度

- ① 介護保険制度を適正に運用する
- ② 国民健康保険制度を適正に運用する
- ③ 高齢者医療制度を円滑に進める
- ④ 国民年金制度を円滑に進める
- ⑤ 生活困窮者の自立を支援する

実施事業の概要

① 介護保険制度を適正に運用する

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	介護保険給付事業 介護保険制度の居宅・施設等の介護サービス給付等	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 6,203.2 (特別会計)
	介護給付費等費用適正化事業 持続的な介護保険制度の構築のため、介護認定調査やケアプランの点検、給付費の通知等を実施	実施 (新規)	実施	実施	24年度より実施	2.8 (特別会計)
	地域密着型サービス事業者指定・監督事業 地域密着型サービス事業者の指定、指定更新、監督を実施	実施	実施	実施	継続して実施	—
	働きながら資格をとる介護雇用プログラム事業 (緊急雇用事業) 介護施設で働きながら介護資格を取得	実施 (終了)			24年度で終了	24.3
	介護保険サービス低所得者利用負担軽減措置事業 社会福祉法人等が生計困難な低所得者の利用者負担を軽減した場合の助成	実施	実施	実施	継続して実施	0.1

② 国民健康保険制度を適正に運用する

事業 区分	事 業 名 事 業 内 容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	国民健康保険給付事業 国民健康保険制度の疾病等の療養給付等	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 4,835.6 (特別会計)

③ 高齢者医療制度を円滑に進める

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	後期高齢者医療給付事業（広域連合負担金） 秋田県後期高齢者医療広域連合が実施する後期 高齢者医療制度の医療給付費等への負担	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 704.9

④ 国民年金制度を円滑に進める

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	年金相談員設置事業 厚生年金等に関する請求・相談業務等を行うために 年金相談員を配置	(実施)	(実施)	(実施)→	経費は日本年金機 構が負担	百万円 —

⑤ 生活困窮者の自立を支援する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	生活保護事業 生活困窮者からの保護相談を受けて、生活状況を 把握の上、生活扶助をはじめ保護費を支給	実施	実施	実施→	継続して実施	百万円 1,818.1

(基本目標 3 安全と安心のまち)

政 策 (7)	効率的で住民サービスに資する行財政基盤
---------	---------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 職員の能力を生かし、効率的な事務処理や適正な個人情報管理などにより、行政の信頼度が高いこと。
- 受益と負担の関係が公平であり、市税をはじめとす収入を確保できるなど、将来にわたって行財政運営を持続できること。
- 国・県や大学、民間企業などとの連携や、他の地域との広域的な協力により、地域の課題が解決できること。
- 財政状況や契約状況など、行政情報の透明性が高いこと。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標	備 考
市職員は日頃仕事をよくやっていると 思う市民の割合	31.9% (H19年度)	50.0%	60.0%	市民意識調査
定員適正化計画に基づく職員数	634人 (H19年度)	494人	440人以下	
市税の収納率(現年度分)				
個人市民税	97.97%	98.00%	維持	
法人市民税	99.47%	99.60%	維持	
固定資産税	97.28%	97.40%	維持	
軽自動車税	97.12% (H18年度)	98.00%	維持	
市の財政状況などについて情報 提供が行われていると思う市民 の割合	31.4% (H19年度)	50.0%	60.0%	市民意識調査

施策の体系

(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤

- ① 効果的で適切な住民サービスを行う
- ② 効率的で適切な行財政運営を行う
- ③ 税収や新たな財源など収入を確保する
- ④ 国・県との連携や広域的連携を強化する
- ⑤ 高等教育機関などとの交流・連携を進める
- ⑥ 政策課題に対応できる人材を確保する

実施事業の概要

① 効果的で適切な住民サービスを行う

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	市民総合窓口設置事業 戸籍・住民異動届のほか、国保・年金等の申請受付、税証明発行等を行う総合窓口の設置	窓口設置	窓口設置	窓口設置	継続して設置	百万円 15.2
	市民サービスセンター設置事業 市中心部にあるイオン能代店3階に休日・夜間も利用できる市民窓口を設置	窓口設置	窓口設置	窓口設置	継続して設置	3.1
	旅券（パスポート）発給事業 県からの権限移譲により旅券の申請受付・交付事務を行う	実施	実施	実施	継続して実施	1.1
	情報化推進事業 住民情報システム運用・保守、情報ネットワーク管理	保守管理	保守管理	保守管理	継続して管理	203.7
	災害時情報発信体制整備事業 停電時でも速やかに携帯電話網等を利用し情報発信できるよう必要な機材を整備	整備 (新規)			24年度に整備	0.4
	情報セキュリティ対策事業 情報漏洩、サイバー攻撃の防止等のため、外部専門家を交えた職員研修及びリスクアセスメントの実施	実施 (新規)			24年度に実施	2.3
	市庁舎整備事業 市庁舎に必要な機能・整備手法・位置等を検討し、整備を推進	基本計画 策定等	(基本設計)	(実施設計)	24年度に基本計画 策定	1.0

② 効率的で適切な行財政運営を行う

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
市民	総合計画推進事業 目標指標による政策評価を実施して計画の事業展開等に反映	後期基本 計画策定	評価等 準備	評価作業	24年度に後期基本 計画を策定	百万円 4.0
市民	行財政改革推進事業 行財政改革大綱の推進	次期大綱 策定	(推進)	(推進)	24年度に次期大綱 を策定	0.2
	能代マネジメントシステム事業 現場の業務改善として、執務室内の整頓・清掃、職員提案制度、業務分解表作成等を実施	実施	実施	実施	継続して実施	—
	わかりやすい予算書発行事業 市の予算の概要を市広報紙別冊として発行し、わかりやすく紹介	発行	発行	発行	継続して発行	0.9

③ 税収や新たな財源など収入を確保する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
重点	市税徴収事業 市税徴収のための体制整備と滞納整理等	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 4.3
	納税組合支援事業 督促活動等を行う納税貯蓄組合への事務的補助による支援	支援	支援	支援	継続して支援	2.7
	市有財産等活用広告掲載 公共施設、広報紙、ホームページ等への広告掲載による収入の確保	実施	実施	実施	継続して実施	(2.8) ※収入

④ 国・県との連携や広域的連携を強化する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	国・県要望活動等事業 国・県との協働や市単独で対応困難な施策の実現に向けた要望活動等	実施	実施	実施	必要に応じて見直ししながら実施	百万円 —
	能代山本広域市町村圏組合運営事業（広域負担金） 能代山本広域市町村圏組合の運営への負担金	運営	運営	運営	継続して運営	34.9
	米代川流域地方拠点都市地域整備協議会事業 流域4市4町1村のそれぞれの機能分担と連携	実施	実施	実施	構成市町村との連携のあり方を検討	—

⑤ 高等教育機関などとの交流・連携を進める

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	バイオマスタウン構想調査研究委託事業 能代市バイオマスタウン構想推進のためバイオマス利活用の調査研究等の委託	(実施)	(実施)	(実施)	必要に応じて適切な研究機関等に委託等を実施	百万円 —
	公共建築物整備産学官連携研究事業 産学官が連携して公共施設の木造化・木質化を検討するための研究会開催等	実施	実施	実施	継続して実施	—

⑥ 政策課題に対応できる人材を確保する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H24事業費 (当初予算)
		H24	H25	H26		
	職員研修事業 政策形成能力や専門知識等習得のための職員研修を実施	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 1.3
	職員衛生管理事業 職員の健康管理のための検診、メンタルヘルスのための面接相談等の実施	実施	実施	実施	継続して実施	5.0

Ⅲ 財政計画

1 計画の趣旨

この財政計画は、実施計画期間における財政運営の目安とするため、事業実施により見込まれる事業費をもとに、現行制度を前提として表します。

なお、今後の社会経済情勢の変化や制度改正などには柔軟に対応します。

2 財政見通し

(1) 収支見通し

歳入

(単位：百万円)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
市 税	5,842	5,720	5,619
地方譲与税・交付金	990	990	990
地方交付税・臨時財政対策債	10,096	10,156	10,173
繰 入 金	307	86	25
繰 越 金	430	430	430
そ の 他	101	87	87
歳 入 合 計	17,766	17,469	17,324

歳出

(単位：百万円)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
義務的経費	8,443	8,242	8,262
人 件 費	4,064	3,689	3,559
扶 助 費	1,694	1,755	1,819
公 債 費	2,685	2,798	2,884
その他行政経費	8,825	8,833	8,668
物 件 費	2,456	2,265	2,275
補 助 費 等	3,097	2,896	2,796
積 立 金	652	951	794
繰 出 金	2,292	2,384	2,461
そ の 他	328	337	342
普通建設事業費	498	394	394
歳 出 合 計	17,766	17,469	17,324

- ※備考
- 1) この財政計画は、普通会計の一般財源で推計しています。
 - 2) 平成24年度は、当初予算額に補正が見込まれる経費を加えた額です。
 - 3) 歳入の「その他」は、使用料及び手数料、県支出金、財産収入、諸収入です。
 - 4) 歳出の「その他」は、維持補修費、出資金です。

(2) 歳入の見通し

①市税

市税の主なものは、市民税（個人、法人）、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税です。

固定資産の評価替えや人口減少などにより、減少傾向で推移していくものと見込んでいます。

②地方譲与税・交付金

地方譲与税は、地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税、特別とん譲与税があり、交付金には、利子割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金などがあります。

平成24年度と同額で推移するものと見込んでいます。

③地方交付税

地方交付税は、地方財源の均衡を図り、かつ地方行政の計画的な運営を保障するため、国税のうち、所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税のそれぞれ一定割合の額が国から地方公共団体に対して交付されます。普通交付税と災害など特別の事情に応じて交付される特別交付税があります。

市債の元利償還金や市税減額に対応した増額及び能代商業高校の県立移管による減額を見込んでいます。

④臨時財政対策債

臨時財政対策債は、特例として借り入れする市債で、普通建設事業等に充てる市債とは異なり、普通交付税の一部を振り替えて借り入れする一般財源です。

平成24年度と同額で推移するものと見込んでいます。

⑤繰入金

繰入金は、財政調整基金などからの繰入れです。

各年度における収支不足額等の繰入れを見込んでいます。

⑥繰越金

繰越金は、翌年度の財源として繰り越す決算上の余剰金です。

平成24年度と同額で推移するものと見込んでいます。

⑦その他

その他は、使用料及び手数料、県支出金、財産収入、諸収入です。

県支出金の電源立地地域対策交付金は、平成24年度で終了するものと見込んでいます。それ以外は、平成24年度と同額で推移するものと見込んでいます。

(3) 歳出の見通し

(義務的経費)

①人件費

人件費は、特別職、一般職員の給与や市議会議員、各種委員の報酬などです。

一般職員の給与は、第2次定員適正化計画に基づき、毎年減少を見込んでいます。特別職の給与や市議会議員、各種委員の報酬については平成24年度と同程度を見込んでいます。

②扶助費

扶助費は、社会保障制度の一環として各種法令に基づいて実施するものや、単独で行っている各種扶助に対する経費です。

過去の状況から、3.7%増で推移するものと見込んでいます。

③公債費

公債費は、市が借入している市債の元利償還と一時借入金利子の支払に要する経費です。

すでに借入した市債の償還額と、今後、年次計画で進めている事業や想定される事業などから借入額を推計し、その償還額を見込んでいます。

(その他行政経費)

④物件費

物件費は、人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の消耗的な経費で、具体的には、賃金、消耗品費、委託料などが含まれます。

能代商業高校の県立移管による減額のほか、個別に増減を見込んでいます。

⑤補助費等

補助費等は、能代山本広域市町村圏組合等の負担金や公営企業となった下水道事業会計への繰出金のほか、各種団体等に対する補助金、報償費、保険料などです。

能代山本広域市町村圏組合負担金は減少、下水道事業会計繰出金は増加するものと見込んでいます。

⑥積立金

積立金は、財政調整基金などの基金に積立てるための経費です。

財政調整基金への繰越金の1/2相当額や財源余裕額の積立て、災害救助基金への積立てを見込んでいます。

⑦繰出金

繰出金は、国民健康保険や介護保険、簡易水道事業などの特別会計へ支出される経費です。

各特別会計の推計に基づいて必要な額を見込んでいます。

⑧その他

市の施設の補修費用などの維持補修費、下水道事業会計への出資金があります。

維持補修費は平成24年度と同額で推移し、出資金は増加するものと見込んでいます。

(投資的経費)

⑨普通建設事業費

普通建設事業費は、道路、橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設等社会資本の整備などに要する経費です。

年次計画で進めている事業や想定される事業などを見込んでいます。



能代市総合計画 第3期実施計画

発 行 能代市
平成24年3月
編 集 能代市企画部総合政策課
〒016-8501 能代市上町1番3号
TEL 0185-89-2142
FAX 0185-89-1762
<http://www.city.noshiro.akita.jp>